

# たけだ



QUARTERLY MAGAZINE TAKEDA

## たけだ通信

TAKEDA 【No.100】 平成24年 4月1日発行

### No.100 記念号



# April 2012 No. 100

#### 医療法人 財団 康生会

地域医療支援病院・救急告示病院・臨床研修指定病院・開放型病院・日本医療機能評価機構認定病院

#### 武田病院 ☆

〒600-8558 京都市下京区堀小路通西洞院東入東堀小路町841-5(JR京都駅前)  
TEL.075-361-1351 FAX.075-361-7602

#### 城北病院

〒603-8053 京都市北区上賀茂若ヶ堀内町99番地(地下鉄北山駅)  
TEL.075-721-1612 FAX.075-701-7399

#### 人間ドック健診施設機能評価認定

#### 武田病院健診センター

〒600-8216 京都市下京区堀小路通西洞院東入東堀小路町608 日本生命京都三哲ビル3F  
TEL.075-365-0825 FAX.075-361-3829

#### ラクトクリニック

#### ラクト健診センター 人間ドック健診施設機能評価認定

〒607-8080 京都市山科区竹藪竹ノ街通町92番地 山科駅前ラクト山科C棟3階  
TEL.075-581-0910(ラクトクリニック)TEL.075-581-6696(ラクト健診センター)  
FAX.075-581-0991

#### タケダ放射線科クリニック 武田病院画像診断センター

〒600-8216 京都市下京区西洞院通堀小路下ル東堀小路町930番地(JR京都駅前)  
TEL.075-361-1680 FAX.075-361-1682 フリーコール 007-77-5588

#### 梶井町放射線診断科クリニック

〒602-0841 京都市上京区御車通通清和院口上る梶井町457番地  
TEL.075-950-5751 FAX.075-950-5753

#### 京都駅前武田透析クリニック

〒600-8216 京都市下京区木津屋橋通新町西入東堀小路町606-3-2 三旺京都駅前ビル6階  
TEL.075-351-9200 FAX.075-351-9201

#### 康生会クリニック

〒600-8231 京都市下京区油小路通下魚ノ棚下る油小路町277  
TEL.075-354-7227 FAX.075-354-7228

#### 柳馬場武田クリニック

〒604-8113 京都市中京区柳馬場通六角下る井筒屋町430-1  
TEL.075-213-2216 FAX.075-213-2217 (タケダライフサイエンス・リサーチセンター 2F)

#### 原田クリニック

〒610-0121 京都府城陽市寺田水度坂15-146  
TEL.0774-52-5779 FAX.0774-55-1019

#### 京都壬生苑診療所

〒604-8821 京都市中京区壬生堀ノ宮町31番地  
TEL.075-823-3371 FAX.075-822-6550

#### 柳馬場訪問看護ステーション ☆

〒604-8113 京都市中京区柳馬場通六角下る井筒屋町430-1  
TEL.075-212-7266 FAX.075-212-7321

#### たけだホームヘルプサービス ☆

〒604-8113 京都市中京区柳馬場通六角下る井筒屋町430-1  
TEL.075-211-5999 FAX.075-213-2217

#### 京都市 下京・中部 地域包括支援センター

高齢サポート・下京中部 ☆  
〒600-8232 京都市下京区木津屋橋通油小路東入南町509-4  
TEL.075-361-2141 FAX.075-361-2145

#### 医療法人 財団 医道会

救急告示病院・開放型病院・回復期リハビリテーション病棟・日本医療機能評価機構認定病院

#### 十条リハビリテーション病院

〒601-8325 京都市南区吉祥院八反田町32(十条新千本角)  
TEL.075-671-2351 FAX.075-671-2961

#### 十条訪問看護ステーション ☆

〒601-8325 京都市南区吉祥院八反田町32  
TEL.075-671-2415 FAX.075-671-2435

#### 日本医療機能評価機構認定病院

#### 稻荷山病院

〒612-0801 京都市伏見区深草正覚町27番地(京阪烏羽街道駅)  
TEL.075-541-3371 FAX.075-532-5115

#### 医療法人 財団 宮津康生会

#### 宮津武田病院

〒626-0041 京都府宮津市鶴賀2059番地の1(北近畿タンゴ鉄道宮津駅)  
TEL.0772-22-2157 FAX.0772-22-1125

救急告示病院・臨床研修指定病院・歯科医師臨床研修指定病院・開放型病院・日本医療機能評価機構認定病院・人間ドック健診施設機能評価認定

#### 宇治武田病院

〒611-0021 京都府宇治市宇治里尻36-26(JR宇治駅前)  
TEL.0774-25-2500 FAX.0774-25-2353

#### 指定介護療養型医療施設

#### 木津屋橋武田病院 ※

〒600-8231 京都市下京区油小路通下魚棚下ル油小路町293番地  
TEL.075-343-1766 FAX.075-343-5739

#### たけだ診療所(免疫・遺伝子クリニック)

財団法人ルイ・バスターール医学研究センター関連施設  
〒600-8216 京都市下京区木津屋橋通新町西入東堀小路町606-3-2 三旺京都駅前ビル1階  
TEL.075-351-8282 FAX.075-351-8448

#### 医療法人 医仁会

救急告示病院・臨床研修指定病院・歯科医師臨床研修指定病院・開放型病院・日本医療機能評価機構認定病院・京都府がん診療推進病院

#### 医仁会武田総合病院

〒601-1495 京都市伏見区石田森南町28-1(地下鉄石田駅・外環状線沿)  
TEL.075-572-6331 FAX.075-571-8877

#### 精華町国民健康保険病院

〒619-0241 京都府相楽郡精華町祝園砂子田7番地(JR祝園駅・近鉄祝園駅前)  
TEL.0774-94-2076 FAX.0774-93-2818

#### 附属施設/医仁会武田総合病院リハビリセンター

〒601-1439 京都市伏見区石田森南町27-1  
TEL.075-572-5139 FAX.075-571-8877

#### 疾病予防センター

〒601-1495 京都市伏見区石田森南町28-1  
TEL.075-572-6365

#### 武田クリニック[血液透析センター]

〒601-1495 京都市伏見区石田森南町33-6  
TEL.075-572-6984 FAX.075-572-6218

#### 老人保健施設 白寿 ※☆

〒601-1434 京都市伏見区石田森南町9番地  
TEL.075-572-8207 FAX.075-572-8726

#### 京都市下京区地域介護予防推進センター

〒600-8232 京都市下京区木津屋橋通油小路東入南町509-4  
TEL.075-361-1060 FAX.075-361-0901

#### 老人保健施設 いわやの里 ※☆

〒607-8177 京都市山科区大宅古海道町52  
TEL.075-572-1811 FAX.075-572-1880

#### 指定管理者 医療法人 医仁会

#### 辰巳診療所

〒601-1345 京都市伏見区醍醐外山街道町21  
TEL.075-571-8545 FAX.075-571-8555

#### おもいやり訪問看護ステーション ☆

〒601-1434 京都市伏見区石田森南町9番地  
TEL.075-574-1621 FAX.075-574-1622

#### 京都市 醍醐・南部 地域包括支援センター

#### 高齢サポート・醍醐南部 ☆

〒601-1434 京都市伏見区石田森南町9番地  
TEL.075-572-6572 FAX.075-575-4738

#### 社会福祉法人 青谷福祉会

#### 軽費老人ホーム ヴィラ城陽 ※☆

訪問介護ステーション ヴィラ城陽 ※☆  
〒610-0114 京都府城陽市市辺笹原1番地  
TEL.0774-55-1875 FAX.0774-54-3321

#### 城陽市立東部デイサービスセンター ※☆

〒610-0102 京都府城陽市久世芝ヶ原6番地の2  
TEL.0774-56-2530 FAX.0774-56-2531

#### 特別養護老人ホーム ヴィラ山科 ※☆

ヴィラ山科老人デイサービスセンター ※☆  
〒607-8179 京都市山科区大宅御所田町115-1  
TEL.075-572-6677 FAX.075-572-6866

#### 訪問介護ステーション ヴィラ山科 ※☆

〒607-8179 京都市山科区大宅御所田町115-1  
TEL.075-575-5252 FAX.075-575-5055

#### 京都市 大宅 地域包括支援センター

高齢サポート・大宅 ※☆  
〒607-8179 京都市山科区大宅御所田町115-1  
TEL.075-572-6660 FAX.075-575-5055

#### 加茂町高齢者福祉センター

#### 特別養護老人ホーム 加茂の里 ※☆

#### ケアハウス あじさい ※☆

#### デイサービスセンター 加茂の里 ※☆

〒619-1154 京都府木津川市加茂町駅東四丁目1番地3(JR加茂駅前)  
TEL.0774-76-7607 FAX.0774-76-7802

#### 加茂町在宅介護支援センター・加茂の里 ※☆

〒619-1154 京都府木津川市加茂町駅東四丁目1番地3(JR加茂駅前)  
TEL.FAX.0774-76-8294

#### 訪問看護ステーション あじさい ※☆

#### 訪問介護ステーション 加茂の里 ※☆

〒619-1154 京都府木津川市加茂町駅東二丁目2番地1 ユニ加茂若番館(JR加茂駅前)  
TEL.0774-76-0233 FAX.0774-76-8461

#### 特別養護老人ホーム ヴィラ稻荷山 ※☆

#### ヴィラ稻荷山デイサービスセンター ※☆

〒612-0801 京都市伏見区深草正覚町23番  
TEL.075-561-6550 FAX.075-561-6552

#### 三条小川デイサービスセンター ☆

〒604-8246 京都市中京区小川通三条下ル狸ヶ町124  
TEL.075-254-1106 FAX.075-254-1107

#### 社会福祉法人 悠仁福祉会

#### 特別養護老人ホーム ヴィラ鳳凰 ※☆

#### ケアハウスやまぶき ※☆

#### デイサービスセンターヴィラ鳳凰 ※☆

〒611-0021 京都府宇治市宇治里尻36-35  
TEL.0774-25-2577 FAX.0774-25-2788

※京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構による第三者評価受診施設  
☆ISO9001：2008認証



武田病院グループでは、環境保全活動に取り組み、CO<sub>2</sub>の発生を削減できる水なし印刷及び環境にやさしい植物油インキを採用しています。

### 目次

- 02 武田病院グループ季刊誌「たけだ通信」発刊100号記念  
武田隆男会長、日野原重明氏、瀬戸内寂聴さん歓談
- 10 時代で変化する人口構造・社会  
地域ニーズに照らし、これに応える  
理想のグループ機能を追求 武田 隆久
- 12 武田病院グループの機能と役割
- 16 100才のハードルは越えられるか! 武田 道子
- 18 雑感 武田 隆司
- 20 たけだインフォメーションニュース
- 26 気になる病気Q&A／細田 泰子、石上 文隆
- 28 メディカルアドバイス  
不整脈診断の難しさ～「自己検脈」のすすめ～／江里 正弘
- 30 くすりのお話  
薬物動態から見る服用時間／河原 明美
- 31 キッチン探訪  
レンジの活用でプラス1品の食卓へ／安達 綾希子
- 32 ワンポイントフィットネス  
「苦手・疲れる運動」から、「これならできる運動」への挑戦／今井 優
- 33 ケアアドバイス  
介護インフォメーション／小林 啓治
- 34 ナーシングメッセージ  
武田病院グループ 人材育成について
- 36 武田病院グループ施設基本情報
- 48 法話／醍醐寺座主 仲田順和(じゅんな)師  
医療と漢字

今号の表紙 「禊川の春」



## 経営理念

### 思いやりの心

私たちは常に思いやりの心を持ち 患者さんに信頼される病院でありたい

私たちは人々の生命の尊厳に対する希求  
健康への願いに対するニーズに応え  
地域社会に信頼される病院でありたい

私たちはお互いに尊敬と協調の心を持ち  
職員相互が信頼しあう病院でありたい

## 基本方針

### Bridge The Gaps

「ブリッジ・ザ・ギャップス(橋をかけよう)」

武田病院グループは  
患者さんとの間に思いやりと信頼のかけ橋を  
地域社会との間に信義と信頼のかけ橋を  
すべての職員の間で心と心をつなぐ  
信頼のかけ橋をつくりあげる  
努力を重ねます

### 患者さんの権利の尊重

私たちは  
患者さんの意見・立場を大切に  
インフォームド・コンセントを  
尊重します

### 地球にやさしい環境づくり

武田病院グループは地球環境の保全を  
保健・医療・福祉活動  
及び関連活動で常に考慮し  
地球にやさしい、心がかよう、心が安らぐ  
豊かな社会環境の実現に貢献します

## 信頼の医療に向けて

私たちは、医療とは患者様との「信頼と意思疎通」を原点としていることを深く認識し、  
患者様により良い医療を受けていただけるように日々努力を重ねるとともに、次の項目を守り、  
患者様の健康管理・治療・療養等にチーム医療で支援します。

- ①患者様の人格・価値観を尊重します。  
患者様が治療や検査等を受けるにあたり、ひとりひとりの人格・価値観を尊重し、  
相互の信頼・協力関係の下で医療を行います。
- ②良質な医療を平等に提供します。  
すべての患者様に対して、良質な医療を平等に、そして、継続的に提供します。
- ③患者様の立場に立ってわかりやすく説明をします。  
治療や検査等についての説明や情報の提供に際しては、正確に伝えるだけでなく、  
患者様の立場に立ってわかりやすい説明と良好な意思疎通を行って、  
理解と合意を得られるように努めます。
- ④患者様の意思を尊重します。  
治療や検査等に際し、十分な情報提供と意思疎通を行った上で、相互の信頼・  
協力関係の下、治療方法等の選択について、患者様の意思を最大限尊重し  
ます。
- ⑤個人情報・プライバシーを厳守します。  
患者様の個人情報やプライバシーは厳格に保護します。

「患者さんの権利の尊重」展開 03.07.01

## ISO14001自己宣言書

武田病院グループの環境マネジメントシステムがISO14001の規格に適合していることについて自らの責任で決定し、ここに自己宣言します。  
武田病院グループは、地球環境保全を保健・医療・福祉活動及び関連活動で常に意識し、  
グループの果たすべき重要な課題として捉え、今後も尚一層積極的に環境活動を推進します。

08.12.15 武田病院グループ  
理事長 武田 隆久

## 環境方針

武田病院グループは地球環境の保全を保健・医療・福祉活動及び関連活動で常に考慮し、  
地球にやさしい、心がかよう、心が安らぐ豊かな社会環境の実現に貢献します。  
また、関連する環境の法規、法令を遵守するとともに  
関連団体における環境理念等を尊重し、自然災害等に対する安全、安心を心がけ、  
組織的、継続的な改善と汚染予防、循環型社会の形成を推進します。

- ①省資源・省エネルギーの推進  
保健・医療・福祉活動及び関連活動における省資源・再生可能なエネルギーの  
利用、電気・水等のエネルギー供給の複合化を図るとともに省エネルギーを  
推進する。
- ②廃棄物の3R(減らす、再使用、再資源化)の推進  
保健・医療・福祉活動及び関連活動によって発生する廃棄物の3Rを推進する。  
購入の段階で環境保全に貢献できる再利用可能な材料・商品等を積極的に取  
り入れる。また、医療廃棄物の処理・廃棄については、厳重に管理する。
- ③安全性・快適性の推進  
自然災害に対応した地域との連携、施設機能の継続に向けた改善を図り、医  
療機器、薬品、食料の備蓄等を含む安全性と汚染予防の確保及び施設環境の  
快適性を推進する。
- ④環境広報活動の推進  
環境方針・目的の職員への周知徹底及び利害関係者等とのコミュニケーション  
を目的とした環境広報活動を推進する。

環境方針書No.2 11.08.01 武田病院グループ  
理事長 武田 隆久

# 武田隆男会長、日野原重明氏、瀬戸内寂聴さん歓談



武田病院グループの広報季刊誌「たけだ通信」が、今春、発行以来100号を迎えるのを記念して2月21日、聖路加国際病院理事長の日野原重明先生、天台宗住職で作家の瀬戸内寂聴さんを迎え、武田病院グループの武田隆男会長と座談会を行いました。日野原先生は今年101歳になられますが、今も現役の病院理事長の他、著書の執筆や音楽など、さまざまなジャンルに挑戦され幅広く活動を続けておられます。瀬戸内さんも多くの著作をはじめ、脊椎の骨折という大けがを克服して、東日本大震災の被災地に度々出向き、被災者や残された子供たちに勇気と感動を与えておられます。



創刊当時のたけだ通信

## 一生懸命に生き切る

**武田** 私どもの季刊誌『たけだ通信』が1982年4月に発刊以来、今春、100号の記念号となり、お忙しいところ皆様にお集まりいただきました。ちょうど1年前の昨年3月11日、東日本大震災という未曾有の災害に見舞われるなど、日本にとっては内外ともに大変な年でした。今年も壬辰(みずのえたつ)の年ということで、昇り竜にあやかっつて、少しでも飛躍の年になればと願っているところです。日野原先生も今年101歳になられますが、何か心に期しておられるところはおありでしょうか。

**日野原** 子供の頃(小学校4年生)は腎臓病で1年間運動を止められ、京都大学医学部2年生の時は肺結核で1年療養と、少年・青年時代は非常に病弱でした。日本も、アメリカの医学の良いシステムを学ぶべきだと思いい39歳で米国へ留学しました。ちょう

ど大阪万博が開催された年(1970年)に『よど号』ハイジャック事件に遭遇し、あれが私の人生の転機となりました。解放されて金浦空港(ソウル)の土を踏んだ瞬間、「私の命は与えられたものだ」と感じ、これからは誰かのために生きようと考えるから、かえって体に無理がきくようになりました。

**武田** 瀬戸内先生も、作家でありながら仏門に入られるという、人生の転機によって新しい使命感を得られたのではないのでしょうか。

**瀬戸内** 私の場合は頭を剃るだけで、日野原先生のように、命の瀬戸際まで行くような悲そう感はありませんでした。しかし、51歳という若さでしたので、法話では「ちよつと損をしたかしら」なんて冗談で話すことはありますが、後悔はしていません。

**武田** 確かに、私なんか日野原先生のようなすごい場面に遭遇したことはありません。病院運営の大先輩や、著作や布教という素晴らしい社会活動の先輩の前に、威張って言えることにはないのですが、武田病院グループによる地域社会への医療貢献に一生懸命の50年だったと思います。私は未(ひつじ)歳で、声を荒げたり、怒鳴り散らすことは苦手で、今も瀬戸内先生から、「声が小さい」とお叱りをうけたばかり。ただ、「一生懸命」という言葉を絶えず脳裏に置いています。一生懸命は「一所懸命」とも書きますね。これからの人生、「一所」にもう一つ加えて「二所懸命」を心掛けて、もうひと踏ん張りしようかと決意しているところです。日野原先生のお元気の源はどこにあるのでしょうか。

## 見えないもの大切さ

**日野原** 私と瀬戸内さんとの対談集『いのち、生ききる』(2002年出版)のタイトル通り、与えられた命をクレッシェンド(音楽用語で音を次第に強めること)に生きていくことを心掛けています。

**瀬戸内** 一緒に講演旅行に行った帰り、日野原先生が重い荷物を両手にお持ちでしたから、うちの秘書が「先生お持ちしましょうか」と尋ねると、「私はこれで体のバランスを保っているんです」とおっしゃって渡そうとなさらないんです。本当にお元気ですよ。

**日野原** 100歳を超えてから、やりたいミッションがたくさんあるんです。だから、100歳のお正月に「100歳は、ゴールではなしに、関所だよ」と俳句を詠みました。次の関所へ向かうためにね。今、小学校で「いのちとは何か」という授業を行っています。「いのちはどこにある?」と聞くと、子供たちは「心臓」と言います

が、心臓は血液を送る機械で、命そのものではありません。そして、「目に見えないもう一つ大切なもの、それはあなたの持っている時間だ」と教えます。昨日の時間を触ることも、明日の時間を見ることもできないが、今の時間はあなたのもので使える。「生きるとは与えられた時間をどう使うかということだ」と。こんな哲学的なことが、10歳の子供でも理解できるんです。次世代を担う全国の子供たちから手紙が届くようになり、毎日、返事を書くようにしています。

**瀬戸内** 私も法話で、目に見えないもの大切さを話します。ところが、戦後の日本人は全ての物を無くしま

したから、目に見えるものだけを欲しがって、それで拜金主義になってしまった。本当に大切なものって、目に見えないもの、時間、それに神や仏、それから皆が持っている心も目に見えません。それらが大切さだと繰り返し話しているんです。



## 新しきこころへの挑戦

**武田** 私も今年81歳になります。15年前から理事長を息子に譲りましたので、日本病院会や京都私立病院協会の役員、そのほか芸術団体の役

職など、比較的フリーに仕事をしておりました。どうも人から物を頼まれると断れません。いろいろ声をかけていただくということは、相手の方が

**日野原** 年をとってからでも、ピアノを習い始めるとか詩を作るのでも、やったことのないことに挑戦するのがいいんです。先ほど言った、『よど号』事件で解放された人生の転機の時、読んだのが、マルティン・ブーバーの著書にある「人は新しいことを始めることさえ忘れなければ、いつまでも歳をとらない」という言葉です。今年になつて子供の童謡と童話を創作しているんです。

**瀬戸内** 私に、強敵あらわるですね。素敵な童謡とか童話を先生が創られたら、私の本が売れなくなる(笑)。

**日野原** アンデルセンやトルストイも、子供が読むような童話を書いています。

**瀬戸内** 子供にも、本物はわかるんです。東日本大震災の被災地では、小学校の講堂に全校生徒200人が集まってくれました。自分で作った紙芝居を見せたのですが、東北の言葉がいいと思って、「紙芝居読める人いな

い?」って聞いたたら、6年生の女の子が手を挙げて出てきてくれて、上手に東北のアクセントで読んでくれました。東北の子は内気だといわれていますが、そんなことはありません。自信をもつて手を挙げるし、はじめての紙芝居に挑戦するのです。その後で、質問の時間をつくりましたら、皆がいつせいに手を挙げるんですよ。「小説家つて月給はいくら?」など、とても可愛いんですよ。最後に、3年生の女の子が手を挙げて、「震災でたくさんの方が死にました。お母さんに聞いたら、戦争でもたくさんの方が死んだそうです。戦争で死ぬのと震災で死ぬのと、どう違うんですか?」と尋ねます。私は「とてもいい質問ね。今度のような津波や地震で人が死ぬのは、自然の起こす災難で、天災です。戦争は人間がするものだから、人災って言います。戦争は人間がしなければ災いが来ないんです。絶対しちゃだめ、人を殺しちゃだめなの」って言いました。「天災も、あなたたちが勉強すれば、今よりもっと防げる方法が見つかると思うから、勉強してね」と言いました。女の子は「わかり



武田隆男会長

私を信頼し、それなりに役立つとおっしゃるから来ておられます。多分、一度お断りすると二度と声はかからないでしょうし、お引き受けして走り回っていると、何かしら成就するものだと思います。人のためばかりでもなんですよ、頭の回転のためにもいいというので、観世流の太鼓も始めました。謡は75歳からやっています。なるほど、音符とは全然違いますので、使う脳の回路もかなり異なっているため、少しは頭の方も変わってくるかなと思っています。まだ、変わってきませんけども(笑)。

ました」って。私の方が教えられます。やっぱり子供に対する教育と、子供たちの健康を守ってあげることが一番大事ですね。未来は子供たちの肩にかかっているのですから。

**武田** 本当にそう思います。私ども、医療人が最も心に銘じなければいけないことですね。医療の本質は、技術よりも「心」です。思いやりの心です。これは簡単に云いますが、なかなか

## 東日本大震災支援への応援歌

**武田** 朝日新聞でも書いておられましたが、瀬戸内先生は、震災の直前に脊椎骨折という大きなケガをされました。リハビリに一生懸命に取り組み、完治前のケガを押してでも、被災地に行こうと思われたのはなぜですか。

**瀬戸内** 一昨年の暮れです。最初はぎっくり腰だと思いました。旅先だったので、ホテルで死んでも困るから、痛いのを我慢して京都へ帰りました。



瀬戸内寂聴さん

**武田** 実は、私も昨年9月に腰椎の圧迫骨折になりました。医仁会武田総合病院の川西昌浩部長(脳神経外科)という、TBSテレビ「これが世界のスーパードクター」で紹介されたドクターに手術してもらいました。セメント療法といって、複雑骨折したところへ骨セメントを流し込むのです。私は別の部位の損傷もあったため、1週間入院しましたが、普通は手術直後に痛みも消えて、すぐに立って歩けるようになります。

**瀬戸内** ええ？そんな治療があるんですか？

か難しいことです。「愛」であり「慈しみ」であり、仁心…気配りです。どんなに優秀な設備を整えていても、心が通わなければ、本当の医療はなし得ません。人の病を治すことはできません。そんなことを病院の創設以来訴え続けて参りました。地域のニーズに即した、その時に必要な医療を行っていくように心掛けています。

近くの医師に「脊柱管狭窄症」って言われました。その後、別の病院で診てもらったら、脊椎の圧迫骨折といわれました。その間に、いろんな人が「治してあげる」と来るんですよ。拝んだり、触ったり、撫でたり。どれも効かない。「手術は嫌です」って言ったなら、「普通の人は何にもしなくても、静かにしていたら3カ月で治る。でもあなたは最初に間違っているんなことをしているから6カ月かかる。何と、いつもお年ですからね」って。初めて「年

**日野原** 聖路加国際病院でもセメント療法をやっていますが、アメリカでは大変普及している治療法で、高齢の方も寝たきりにならない治療法ですよ(笑)。

**瀬戸内** 私なんか6カ月も痛いのを我慢していたのに。でも、日本でもそれは認可されているのでしょうか？

**武田** 全身麻酔ではなく、局所麻酔ですから、麻酔による危険性もまったくありません。いつ手術が終わったのかな、という感じでした。お年寄りの方で、ちょっとしたはずみで転倒されたり、尻餅をつかれたりして圧迫骨折される方が非常に多いので、患者さんが殺到しています。

**瀬戸内** まあ、早くそれがわかっていたら、半年も寝ないでよかったのに！今度はぜひ川西先生にお願いします。あちこちで宣伝しますよ。

**日野原** 僕は3・11が起った1カ月後に、宮城県の南三陸町がひどいと聞いていたので、ここを訪れました。

だ」なんて言われて(笑)。何もするなつて言われなくても、何もできないんです、痛くて。だからじっと寝ていたんです。物書きになつて何カ月も仕事をしなかったのはじめてでした。4月で6カ月だったんですが、そうしたら3月11日に大震災が起った。続いて原発でしょ。原発のニュースを聞いてたら、はつと思つてベッドから降りてすつと立っていたんです。だからね、原発シヨック立ちつて言ってるんですよ(笑)。よたよたしながらでも、お見舞いに行つたつもりです。ところが、被災地の人たちから、かえつてエネルギーをもらっている。行く度に元気になる。これは不思議だと思いました。



日野原重明氏

天皇陛下、皇后陛下がヘリコプターで行かれた避難所の歌津中学校に行ったら、私の顔をみんな知っているものだから、皆私のそばに集まってくるんです。男の人はみんな元気がないんですが、女性は「私たちがしっかりしないと」って言うんですね。

**武田** 武田病院グループでも被災者の患者さんの受け入れや義援金の募集など積極的に呼びかけております。また、各種団体を通じて、医師や看護師が被災各所でのボランティア活動に参加し、健康相談などに応じてきました。今度の震災で宗教の果たす役割は大切だったのではないでしょうか。

**瀬戸内** 今度の震災で亡くなった方は、何も悪いことをしていない。「神も仏もない」って。そうじゃなくて、「あの方たちは私達を生かすために代わりに死んでくださったんですよ。非常に尊い命だ」って話しました。「代受苦」という仏教のことばは、そういうことをさしています。我々もそのことを忘れてはいけないと思います。

**武田** 現地の人を励ますのはいけない、これ以上頑張れというのは大変酷なことだと瀬戸内先生はおっしゃっていますね。

**瀬戸内** 「頑張つて」なんて言えないですよ。皆、精一杯頑張っているんですから。「どうか自分をいたわってください」と私はいつています。

**日野原** 生き残った人の中には、「生き残つてよかった」と思う人と、子供や年老いた両親が死んで自分が生き残つたことに対して、「どうして私が残つて子供が死に、親が死んだんだ」と悔やむ人がある。「危ないから、高いところへ早くいらつしやい」と、自分が先頭に立って叫んだが、「どうして自分が一番後ろにいて先に行きなさいって言わなかったのか」って、そういう後悔が大きな心のトラウマとなって苦しんでいる人がきつとあると思うんですよ。

**瀬戸内** ほんとにその通りです。私は随分その相談を受けました。「どうして自分が残つたんだろう」って

外中の例外ですよ。グループとしての大きな方針が、病院全体のスタッフに及んでいるからに違いありません。ペテランだけでなく、若い人を大切にされていることもあるのでしよう。

**瀬戸内** 職員の方が3千人というのと、その家族を合わせると1万人に上りますね。それだけの人たちに潤いと安心・安全を与えておられるのですから、大変なことですよ。それなのに武田会長は、どうしてそんなにつやつやした皮膚をしていらつしやるの？二十歳はお若く見えますよ。

**武田** 日野原先生と瀬戸内先生にそうおっしゃっていただけると、元氣とやる気を与えていただいた感じがします。ありがとうございます。これからは地域医療への貢献を念頭に、「思いやりの心」、「ブリッジ・サ・ギャップス（橋をかけよう）」の基本方針を大切にして病院運営に邁進していく覚悟でおります。

**日野原** それにね。一本の根から枝が出て、葉や幹になる。それらがきつちり役割分担しておられることもあり

ね。「私が死んで子供を助けたかった、お爺ちゃんを助けたかった」って、皆さん苦しんでいらつしやいます。

**日野原** 岩手県野田村の野田村保育所では、保母さんが毎日午後、一年を通して津波の避難の練習を子供にさせていたんです。「源平坂まで行けば大丈夫だから、そこに行きましよう」といつて、足の悪い子は抱えるようにして行つたんですよ。南三陸の4階建ての公立志津川病院へ行つたら、レ

## 病院経営の難しさ

**武田** その命を守る病院の経営は非常に難しい状況になっていますね。私どもも9カ所の病院や60カ所以上の施設を運営しており、職員は3千人に上ります。人件費が全体の50%以上を占めます。人の命と健康長寿への貢献という医療施設の宿命を抱えている以上、合理化を進めることは不可能です。より優れた医療技術と医師などマンパワーの充実、最新機器の導入などを絶えず心がけねばいけないと思つています。

ントゲンの機械も津波に流されてしまつて何にもないんです。病院の玄関にはチリの地震に伴う三陸での津波の高さは28メートルであったと書いてありました。しかし、今回の震災ではその10倍もの高さの津波に襲われました。だから、もつと正しい情報と教育の必要性を実感しましたね。

**瀬戸内** 未来のために、子供たちの命を守り、教育をしつかりすることが何より大切ですね。

**日野原** 病院経営は確かに難しい時代になりましたが、ある基準を満たしていることを、はつきり証明できる医療機関は生き残れます。看護師などマンパワーが不足している病院は、「なぜ人が集まらないのか」をしつかりと検証し、考えないと、一層マンパワー不足になります。優秀な人材が集まる病院は給与面だけではない、勉強できる環境を整えています。それにしても武田病院グループの施設、機能の拡大は日本の医療機関でも例

ます。生きた連携が大切なんです。

**武田** 地域との絆という意味で、「思いやりの心」を経営理念にしています。が、約40年前に私が考えました時には、まだ「思いやり」という言葉があまり使われておりませんでした。職員間だけではなく、地域の人々や患者さん、ご家族の方に対しても「思いやりの心」をもつて接しようということです。今、日本人に最も求められている真理なのかもしれません。

**瀬戸内** 看護師さんも皆さん、本当にやさしい人ばかりです。私の古い友人で、チベットの史研究の第一人者で、京都大学名誉教授だった故佐藤長（ひさし）先生は、よく病気になられたのですが、なぜかその時に私とよく出会うのです。それで私が救急車を呼んで武田病院へ入院していただいたのですが、とてもよくしていただきました。武田病院で安心して最期も迎えられるのです。

**武田** 今日はいろいろ貴重なお話しをお聞かせくださつて、本当にありがとうございます。



# 時代で変化する人口構造・社会 地域ニーズに照らし、これに応える 理想のグループ機能を追求

武田病院グループ理事長

武田 隆久



他に例を見ない未曾有の超高齢社会を迎えた日本では、これを支える医療・介護の充実が、私ども医療従事者だけでなく社会全体の重要課題となっております。国は、高齢者ができるだけ長く在宅で暮らせるよう、医療介護が「地域包括ケア」の確立に動き出しました。しかしながら、こうした連携は「朝夕で出来ることではありません。武田病院グループは、こうした動きに先行し、患者さんやご家族の声に応えながら、医療介護の一体的なサービス提供に早くから取り組んでまいりました。今後も、地域の方に本当に必要な役割機能のあり方を追求してまいります。

## いよいよ高齢者となる団塊世代 高まる医療・介護ニーズに対応

本年2012年は、「団塊の世代」の600万人が、高齢者(65歳以上)に達する大きな節目です。団塊の世代とは1947〜49年に誕生した第1次ベビーブームの年齢層をさし、現在、人口のおよそ5%強を占めています。さらに、団塊の世代が全て75歳以上になる2025年に高齢者人口は3500万人規模になることが

推計され、その人口構造は2人が1人を支える極めて厳しいもので「2025年問題」とまで言われています。

これは何も将来の話という訳ではありません。地域によっては、過疎高齢化で既に迎えてしまった状況でもあり、京都市内の各地でサービス展開している当グループも、こうした地

域における支え手の一員として、医療介護サービスを提供しています。高齢化と医療・介護の必要度が密接な比例関係にあることや、保険報酬のサービスだけでなく地域での包括的な支えが必要であることを、統計の数字ではなく実感として我々は持っています。

人口の多い都心部での高齢化が進めば、必要となる医療・介護サービス量も飛躍的に多くなります。こうしたニーズに対応できるよう当グループでは、2つの介護老人保健施設、4

つの特別養護老人ホームなど入居サービスを充実。さらに在宅を支えるため、6つの居宅介護支援事業所、4つの訪問看護、4つの訪問介護、6つの通所介護、2つの通所リハを運営しています。病院グループならではの、外来・入院治療と連携した、最適なケアの充実に努めています。

また一方では、地域での経験を踏まえ、近年、京都市の受託事業として、自立支援の拠点とされる「地域包括支援センター」を3カ所、介護予

## 「在宅医療・介護」だけでなく 「入院・入所」の期待にも応える

防の普及推進をめざす「地域介護予防推進センター」を1カ所運営することで、医療・介護サービスの提供に加え、その狭間にいる方達に公的サービスで対応するなど、つぎめのないサービス提供環境の構築にも取り組んでいます。

この「つぎめをなくす」取り組みは、口で言うほど簡単なものではなく、患者(高齢者)さんを主体とする関係者の意識づけや、互いの信頼関係の構築など、根気と時間を要します。これまでの連携に満足することなく、より充実したものへと内容をさらに高めていきます。

ここで注意したいのは、在宅医療・在宅介護のあり方です。確かに「できるだけ自宅にいたい」と考える方は多数おられ、こうした方のご自宅での暮らしを支える医療・介護を追求するのは、まさに我々の使命だと認識しています。

しかしながら、社会保障費の抑制ありきで国が「在宅への移行」を強いるのは容認できません。ご家族に高い負担がかかるだけでなく、何より患者さんの状態悪化を招きかねないからです。これまで病室で看護師が容態を見守っ

ていたケースでも、早期退院を促したため、結果として「身体機能が低下した」「自宅で転倒し寝たきりとなった」など、不幸なケースが全国で報告されています。もとより、高齢者は体調が急変する可能性が高くあります。限度を超えた「在宅」に向かうのは甚だ疑問であり、むしろ適切な入院環境、入所環境のさらなる充実が不可欠だと考えるべきでしょう。

また、眼病や心疾患、呼吸器、消化器、皮膚、整形、形成、リハビリそれに透析など、高齢者には様々な治療が必

要となってきます。当グループでは9の病院を軸に、診療所、血液透析センター、画像診断センター、老健、特養、訪問看護、訪問介護、通所等50を超えるサービス事業所が一体となりこれを支えていく考えです。

もちろん我々に求められるのは高齢者医療ばかりではありません。救急医療、小児・周産期医療など重要課題が山積しています。さらに、疾患の早期発見・早期治療、疾患予防といった広い意味での医療が必要なのです。

今後も武田病院グループは、地域の皆様のニーズに照らし、これに応えるグループ機能を追求してまいります。



京都府下第1号の老人保健施設白寿 新築移転(伏見区石田)





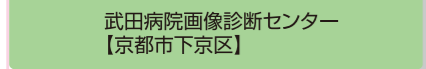
# 武田病院グループの機能と役割

私たちは常に思いやりの心を持ち 信頼される病院グループでありたい

平成24年4月1日現在

## 病 院

画像診断施設 免疫治療 健診センター 健康管理センター



ICU CCU

武田病院(394床)【京都市下京区】

地域医療支援病院

SCU

医仁会 武田総合病院(500床)【京都市伏見区】

リハビリセンター 疾病予防センター【京都市伏見区】

宇治武田病院(177床)【宇治市】

十条リハビリテーション病院(182床)【京都市南区】

## 地域の医療機関・福祉施設 病病連携・病診連携

### 地域医療連携室

病院と地域の開業医の先生方、患者さんを密接に結び役割を担っているのが地域医療連携室です。住み慣れた場所での安心の医療提供の拠点であるとともに、症例検討会や地域医師会行事への参画など、病診連携のさまざまな活動を進めています。康生会武田病院は地域医療支援病院として指定を受けています。



### 開放型病院

武田病院・医仁会武田総合病院・宇治武田病院・十条リハビリテーション病院の4病院は、地域の開業医の先生方が病院に来られ、患者さんを診ることが出来る開放型病院です。患者さん個々の健康状態を熟知している開業医の先生と、専門性の高い病院の医師が、協力し治療を進めています。

# Bridge The Gaps

「ブリッジ・ザ・ギャップス」(橋をかけよう)



プライマリーケア 救急

### プライマリーケア

患者さんが初期に接する家庭医療、それらが容易に得られる身近な病院です。(初期症状の急患・外来・健康相談・検診など)

精華町国民健康保険病院(50床)【精華町】



プライマリーケア

城北病院(60床)【京都市北区】



プライマリーケア

稻荷山病院(55床)【京都市伏見区】



プライマリーケア



木津屋橋武田病院(111床)【京都市下京区】

プライマリーケア

宮津武田病院(77床)【宮津市】

救急告示

一般病床

回復期 リハビリテーション病棟

一般病棟 (障害施設等)

療養病床

介護療養

## 予 防 ・ 健 診

### 健診センター

武田病院健診センターやラクト健診センター、PET-CTを2台備えている武田病院画像診断センターをはじめ、各病院では健康管理センターを設け、疾病の早期発見・健康管理に貢献しています。

## 急 性 期

### 救急医療

武田病院・医仁会武田総合病院・宇治武田病院・十条リハビリテーション病院・精華町国民健康保険病院は救急告示病院として、専門スタッフおよび設備を整え、24時間体制で救急患者を受け入れています。特に武田病院・医仁会武田総合病院では、脳卒中ケアユニット(SCU)や集中治療室(ICU・CCU)を完備した救急救命の機能を有しています。

## 回 復 期

### 総合医療・リハビリテーション

各病院とも循環器や消化器など特定の疾患にめ細かく専門性の高い医療の提供に努めています。また急性期の治療を脱した患者さんへの回復期医療帰っていただくための医療の充実にも力を入れています。く在宅に復帰していただくために回復期リハビリテーション病棟を設け、専門のスタッフが一つのチームと

特化したセンターや専門外来を積極的に開設し、よりきずす。また急性期の治療を脱した患者さんへの回復期医療帰っていただくための医療の充実にも力を入れています。く在宅に復帰していただくために回復期リハビリテーション病棟を設け、専門のスタッフが一つのチームと

## 慢 性 期

### 慢性期医療

城北病院・稲荷山病院では、急性期や亜急性期の医療を終えた患者さんの医療、木津屋橋武田病院では要介護状態にある患者さんへの介護や機能訓練、必要な医療を提供しております。

### クリニック

- 武田クリニック(血液透析センター)【京都市伏見区】
- 京都駅前武田透視クリニック【京都市下京区】
- 柳馬場武田クリニック【京都市中京区】 原田クリニック【城陽市】
- 京都壬生苑診療所【京都市中京区】 辰巳診療所【京都市伏見区】
- 康生会クリニック【京都市下京区】





# 100才のハードルは越えられるか！

武田病院グループ 副理事長  
康生会武田病院 名誉院長  
社会福祉法人 青合福祉会 理事長

## 武田 道子



少子高齢化社会において、介護予防の重要性が増して来て居ります。昨年100才以上の方が、4万7000人と発表されました。毎日の食生活、暮らし方、ものの考え方の積み重ねが、100才の元気につながってまいります。政府は、在宅支援へと病院施設から家庭にかえすことを推奨して居ります。しかし、少子高齢化の我国では、むつかしいのが現実なのです。

老、老介護では共倒れになってしまいます。我国では、親の介護は嫁の務め。施設にあづけたりすると、何と云われる

立の程度で決められると、提唱されて居ります。生活機能の自立が「健康」の指標なのです。

医学の進歩で、高齢化が進み、高齢者医療が多くなるので、政府は財源が続かないと云って居ります。しかし、戦後のGNPを支えて来たお年寄りに対する考え方はありません。

介護認定の4とか5の方でも、在宅支援を受けられる時代になりました。地域包括支援センターの仲介で、スムーズに支援が受けられるようになっていただきたいものです。

政府は、平成20年度から、生活習慣病予備群を25%減らす為の健診を開始して居ります。国民皆保険と云うすばらしい我国です。予防、病気の早期発見、早期治療によって医療費は削減されるのです。



かと云う考え方があります。しかし昨今は、忙がしい時や学校がお休み中など、子供さんを連れて旅行する時、ショートステイを利用される方が増えてまいりました。デイケアにさそっても最初は嫌がられる方が多いのですが、お帰りの際には、笑顔もみられるように変わってまいりました。

うちのおじいちゃん、おばあちゃんは、人見知りをするので、共同生活は無理と云って居られる御家族様も居られるのですが、1日中家にこもり、中には1日中天井を見て過ごして居られるお年寄

りは、実際にデイサービスを体験されますと、又、行こうかと思われるようになります。

我国の風習の中に、他人を家の中に入れたくないと訪問サービスを拒否されるお宅も少なくありません。その点デイサービスでは、何より大きなお風呂に入るのが、楽しみだと云われるようになります。御家族さんも安心して、御家庭のことも出来ますし、用事を片付けることも出来るのです。

WHOでは、高齢者の健康は、生死や疾病の有無ではなく、「生活機能の自立」によって、少しずつ歩けるようになっていたり、絶対ひとりにして置かないと云った時を過ごすことによって、いろいろな人々とお話しをしたり、笑ったり、唄ったりすることで、認知症も改善されて来るのです。

日本を支えて来られた人々は、社会でみると云うことが、当然のことだと思います。長寿の秘訣、3食食べて体を動かせることによって汗をかき、みんなと共にテレビをみたり、唄ったり、笑ったりして、ひきこもる事なく、楽しい日々を過ごされることを祈りたいと思います。笑うことで、痛みがまぎれるようになり免疫機能も高くなります。笑いは、お金のいらぬ治療法なのです。笑う門には、健康来たるです。つくり笑いでもよいので笑って下さい。生活習慣の改善で100才のハードルは越えることが出来るのです。



## 「雑感」

武田病院グループ 専務理事  
医療法人財団 康生会 理事長 **武田 隆司**

あの震災から早くも一年が経過した。ここ京都では何こともなかったような日常が戻ってきている。

それは良いことだと思う。しかし現実には被災地での復興は遅々として進まず、人々の苦悩は続いていることを忘れてはいけない。

震災復興を掲げて何度も繰り返される補正予算も、現実には霞ヶ関が自由に操作しており現地には殆ど届いていないと聞く。

また、何を思ったか昨年末に早々と福島第一原発の冷温停止宣言をした総理は、今度は「命を懸けて」消費税を上げると宣言している。

命を懸ける方向性の不思議さはさておき、ひとつの案として国会と霞ヶ関、多額の資本注入を受けている東京電力も引き連れて福島原発近隣に移転していただくというのは如何だろうか？

そうすれば都内一等地の賃貸収入が期待できるし、売却すれば売却益に加えて高額な固定資産税が安定的に入ってくる。

また現在は廃墟と化している地域に、超高額な給与を受け取っている人々がワンサカやって来るのだから地域経済も確実に活性化するだろう。

もう事態は収束に向かっていているというようなアナウンスが事実であれば、命を懸けるよりも安全に国家財政が立直るのだから、なかなかおトクな話だと思うのだが…

などと思いのままに書き始めると、いつもの品がない毒舌コラムになってしまい、せつかくの100号記念に水を差すというものだ。

今回は辞退しようかとも考えたのだが、ごく一部にこのコラムを楽しみにしているという希有な人がいると聞く。

そんな奇特な読者のためにもトーンを下げ気味に書いてみよう。

高尚な会長対談記事の品位をあまり下方向に引っ張ってもいけないので…

私がこの「たけだ」に初めて寄稿したのがいつだったのかを調べてみると、それはNO.63で1999年発行であり、もう13年も昔のことであった。

「時流を見つめ、されど追わず」などというタイトルで、初々しく経営陣に入ったことに対する不安な胸の内などを綴っている。

当時はまさか自分が現在のような「やさぐれた中年オヤジ」になるとは考えてもみなかったことだろう。

あの頃に戻りたい…

そういえば更に遡ること数年、当時の私はまだ空手の試合に出場していたこともあり、かなり頑張って筋肉をつけて体重を増やしていた。

最大で80kg近くもあり髪型もGIカットにしていたこともあって、心はピュアだが外見はプロレスラー崩れのようなようであった。

しかし経営陣に入ってからというもの、自分の立ち位置が判らなくなってしまい、知らず知らずのうちにストレスが蓄積していたのだろう。

一気に体重が15kg程減って65kg程度にまで落ち込んでしまった。

周囲からは「絶対に精密検査をした方が良い」とかなり本気で勧められていたが、たぶんストレス性だと自己判断していたので聞く耳を持たなかった。

するとマイコプラズマ肺炎を患ってしまった。当初は夏風邪でも引いたのかと思ってあまり気にしていなかったのだが、薬を飲んで寝ていても一向に回復せず。

真夏であったにも拘らずトレーナーを何枚も着込んで布団に包まっても震えが止まらず、ここでようやく体温を測ってみると実に41℃となっていた。

仕方なく病院へ向かい、診断がついて投薬を受けて回復した。

まったく、医者の不養生とはよく言ったものだ。

ちなみに、この時初めて「ストレスは免疫力を低下させる」ということを実感した。

その後、良く言えばタフに、悪く言えば凶太くなってしまい、無事に体調も回復し体重も75kgまで回復した。そのままずっと同じ体重をキープしていたのだが、6年程前に腰椎ヘルニアの手術を受けた際に血液検査を受けたところ、血糖値・中性脂肪・コレステロール・尿酸に肝機能などが軒並み異常値を示し、40歳にして成人病に向かって全力疾走している自分に気づいて驚いた。

本来、定期健診を受けていれば把握できることだったのだが、正に不養生…

思えば当時もまだ体重と筋量をキープするために、胃袋に隙間があれば肉や炭水化物を詰め込んで、水の代わりに生卵を飲むという狂気の食生活をしていたのだから当然の報いか。

その事実に気づいて以後は大きな身体を諦めて意図的に体重を落とし、現在に至るまで62kgの体重が続いている。

これにより検査数値は全く正常になり、肝臓も日々大量のアルコールを分解し続けてくれている。

やはり一定以上の年齢で必要以上に体重を増やすことは、身体に良くない影響が現れる可能性が高いのだということをごここで実感した。

何事も経験だ。

メタボリック症候群の意義については諸説あるようだが、少なくとも我々日本人にとっては意味のあるものなのかも知れない。

その理由として、古来より日本人の食生活は非常に粗食であり、玄米・穀物・野菜と少量の魚介類などを中心に構成されていた。

つまりそのような食生活に対応する身体構造になっているのだ。

現在、日本の糖尿病人口は1076万人でワーストランキング世界6位にランクインしている。

成人人口が9534万人なので糖尿病有病率は11.20%となり、WHO標準値の7.93を大きく上回る。

戦後の経済成長期以後日本の糖尿病人口が急増したことから、やはり欧米型の食生活は日本人に合わないのではないかと考えられている。

現在では、ある遺伝子に変異があると糖尿病になりやすいということが明らかになっており、これはアジア人種の方が欧米人種より高い確率で保有しているとのことだ。

そして日本人では4人に1人が保有している。

この理由として考えられるのは、欧米では1万年前から肉食文化が浸透しており、この遺伝子変異を有する人は既に淘汰されたのではないかと考えられている。

つまり1万年後には日本人の糖尿病も自然に減少する可能性があるのだ、気の長い方はそれを期待されるのも良いかと思う。

ちなみに健診で血糖値に異常が見つかった人は10年以内に43%が糖尿病になるという統計もあるので、現実的には早めに生活習慣を改善した方が良いでしょう。

ところでなかなか体重コントロールに成功できない人が決まって言う台詞に「水飲んででも太るねん」というものがある。

しかし0カロリーの水を飲んで体重が増加することは絶対にない。あるとすれば夢遊病で無意識に何かを食べているのか、光合成でもしているのだろう。

摂取カロリーを消費カロリーより抑えれば確実に体重は減る。

消費カロリーは肉体的運動・基礎代謝・頭脳労働などであり、筋量を増やすことにより基礎代謝量を増やすことができる。

基礎代謝は運動時以外でもカロリーを消費し続ける。メタボリック症候群よりは格段に知名度が低いのが、ロコモティブ症候群防止のためにも、効率の良い体重コントロールのためにも、できる範囲で筋量を増加することをお勧めする。

ただし生卵はお勧めしない。



各施設での取り組みをご紹介します

医療法人 **医仁会武田総合病院**

**災害支援ナース会**

医仁会武田総合病院看護部では、平成19年より災害時に対応出来る看護師を育成する目的で災害支援ナース会を立ちあげ、院内研修、災害マニュアルの作成、災害訓練を行っています。



**災害セミナーを開催しました**

災害支援ナース会では、災害時体制の充実を図るため全職員対象で、日本DMAT講師でもある長浜赤十字病院の看護師 金澤豊氏を迎え、「災害セミナー」を開催しました。管理者チームとスタッフチームに分かれ災害時の初動体制についての机上シミュレーションを行いました。いかに早く平常時へ戻すかが良質な医療サービスの提供に繋がるという貴重なご講演をいただきました。そして、指揮命令系統や危機管理の重要性、他部門との協働やチーム医療の大切さについて再認識する良い機会となりました。

災害支援ナースとして今後も継続して、災害マニュアルの見直しや訓練を行い災害に強い医療体制の構築を目指し努力を続けていきたいと考えています。

**消防との合同災害訓練を開催しました**

災害支援ナース会では、毎年近隣の京都市消防局 伏見消防署 醍醐分署のご協力の下、合同災害訓練を行っています。今回は、医師・看護師・救急隊員でチームを組みシナリオステーションを回るメディカルラリー形式を試みました。特殊メイクをした模擬傷病者を観察して、決められた時間内に、どれだけ迅速で正確にトリアージや応急処置を行うことが出来るかを競います。

病院関係者にとっては、現場での救急隊活動を理解し、各職種間のチームワークの大切さを知る良い機会となりました。また、顔の見える関係を築く機会ともなりました。

地域の住民のために安心して心強い医療の提供を目指し取り組んでまいります。



東日本大震災から1年を迎えました。一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

医仁会武田総合病院  
災害支援ナース会代表 小牛田 和美

医療法人 財団 康生会 **武田病院**

**MR装置を更新**

康生会武田病院では、平成24年1月にMR装置をシーメンス社製「MAGNETOM Symphony A Tim System」に更新しました。

この装置は、東山武田病院に設置していた装置で、MR装置の基本となる磁石部分を有効活用し、その他の部品を最新システムに交換することにより、新しいMR装置に生まれ変わりました。

新装置の特徴は、「Tim」というRFコイルシステムです。MR検査では撮影部位ごとに専用のRFコイルを装着し検査を行います。この「Tim」では、各部位ごとに用意された軽量で、かつ高感度な多チャンネルコイルを複数同時に装着することにより、検査範囲を選ぶだけで、マトリクス（格子）状に配列されたコイルが自動的に選択され、必要な範囲の検査が可能です。それぞれのコイルは高感度かつ多チャンネルコイルであるため、局所病変の高分解能検査から、神経疾患や血管性病変、炎症病変などの広範囲の検査まで高画質検査を提供することが可能です。また「Tim」はパラレルイメージング（高速撮影法）により、空間分解能を落とすことなく短時間検査が可能となりました。



**「第11回病診連携消化器クリニカルカンファレンス」を開催しました  
地域の医師会の先生たちと先端医療の現状を研修**

康生会武田病院主催の「第11回病診連携消化器クリニカルカンファレンス」（共催：下京西部医師会、下京東部医師会、アストラゼネカ（株）、第一三共（株））が3月10日、京都市下京区の京都センチュリーホテルで開催されました。カンファレンスは地域の中核病院として、地元医師会の先生方と緊密な協力体制を築き、地域医療への責任を果たしていくため定期的に開催している催しです。当日は下京区、南区を中心に地元の先生方約50人に参加をいただきました。

下京西部医師会会長、山下琢先生（山下医院院長）の開会挨拶に次いで、康生会武田病院 薄井裕治副院長（現・十条リハビリテーション病院副院長）の座長で、康生会武田病院放射線科 浜中恭代医長と、同消化器センター 中部奈美医長の二人が一般講演を行いました。浜中医長は「PET-CT評価が有用であった腹膜播種症例」のテーマで、武田病院画像診断センターにあるサイクロトロン（FDG合成に使う放射線の製造装置）を利用した準備や検査の手順を説明。これら最先端機器によって画像診断でFDGの異常集積を見つけることがより精密にできるようになり、とくに腹膜播種の診断ではPET-CTによる診断が最善の方法になっていると指摘しました。

「プロトンポンプ阻害薬などによる薬剤起因性腸管障害」を取り上げた中部医長は、中高年女性に多く慢性下痢や血便などの症状が現れるこの病気が、今後も増えると予測。「大腸粘膜にコラーゲン・バンドができるのが特性ですが、これを過大・過小評価せず、関与が疑われる薬剤の中止が重要」と報告しました。

ゲスト講師を招く特別講演では、康生会武田病院 消化器センター高橋周史副院長の座長で、京都府立医科大学消化器内科講師 阪上順一先生が「ちょっと知っておいたら得をする腹部エコーのサイン」と題してお話されました。阪上先生は米国での病院勤務などを通じ腹部エコーについて豊富な経験と知識を持つ、この方面の第一人者です。講演では症例によって見えるエコー画像の36例を紹介。特徴的な形を示す画像「カメレオンサイン（ゆらぎ）」「コメットサイン（彗星の尾）」「フラッグサイン（縦縞）」などが取り上げられました。カメレオンサインは肝血管腫に多く、患者さんの姿勢（立つ座る）によってエコー輝度が変わることから診断がつきやすく、フラッグサインはシマウマ模様の旗がなびくように見え典型的なアルコール性肝硬変の画像…と、説明されました。

「白黒画面でわかりにくい画像も、色のくすみ方や白黒の重なり順番を丹念に見ていくことで、その特徴から診断をつけられる」というお話に、参加の先生たちも実際の映像を食い入るように見入っていました。最後に康生会武田病院の葛谷英嗣院長が「役に立つお話ばかりで非常に有意義でした。今後も、病診連携は私たち病院のライフラインとして進めていきます」とあいさつして、締めくくりました。



各施設での取り組みをご紹介します

## 医療法人 財団 医道会 十条リハビリテーション病院

### ロボットスーツHALR福祉用を導入しました

当院では、平成24年2月下旬に、ロボットスーツHALR福祉用を導入いたしました。HALRは、立ちたい！歩きたい！という思いに応えることを願って誕生した自立動作支援ロボットです。下肢に障がいのある方々や、脚力が弱くなった方々の筋力の代わりとなり、装着者の下肢動作や歩行をアシストします。作動原理は、人間が筋肉を動かそうとした時の脳からの電気信号を皮膚表面から検出し、コンピューター制御されたモーターにより関節を動かし、動作をアシストします。また、床反力センサーから検出される荷重の中心が、パソコン画面より確認でき、患者さんはどれだけ足に体重がかけられているかを確認しながら立位・歩行練習などに取り組めるようになっています。

ロボットは、近年リハビリテーション医療の世界で徐々に注目をあびてきております。まだまだ発展途上の分野ですが、最先端の治療として様々な効果が期待されており、当院でもその有効性を検証するとともに、患者さんのより早い機能回復、能力改善を目指して、また何よりも患者さんが意欲を持ってリハビリに取り組めるように努力していきたいと考えております。



スタッフへの講習会



ロボットスーツHALR福祉用

## 宇治武田病院

### 安全な麻酔・痛くない術後を目指して

宇治武田病院 麻酔科は平成22年4月1日に誕生しました。手術が円滑に行えるよう、手術室の効率的運営、安全な手術、痛くない術後、患者さんの速やかな治癒を願っています。

2010年 手術件数2100 全麻件数730

2011年 手術件数2500 全麻件数870

2010年10月1日 日本麻酔科学会麻酔科認定病院に認定されました。

ペインクリニックは2,4,5週の水曜日午後診療しています。



麻酔科認定病院認定証

麻酔医の一日：朝、昨日手術を受けられた患者さんへの回診をします。それが終わる8:25頃手術室スタッフとのミーティング。手術室スタッフの仕事場は手術室3室+カテ室です。患者さんの入室は9:00頃から始まります。これは一般的な症例ですが、患者さんが入室されると心電図などのモニターをつけ、静脈ライン（IV line）をとり、睡眠薬・麻薬・筋弛緩薬をIV。かなり麻酔が深くなったところで気管内チューブを挿入します。手術中、気管チューブから酸素・空気・麻酔ガスを流します。手術が終わると、麻酔ガスを止め、術後鎮痛目的で麻薬などをIVします。10分ほどして気管チューブを抜きます。しばらくすると醒め、帰室されます。本日の麻酔症例が終了すると明日の麻酔症例の準備に掛かります。患者さんを診察し、麻酔の手順を説明し同意書をいただきます。その際問題なのは「気道確保ができるかどうか？>1、大きく口をあけることができること。2、顔を上に向けられること。3、受け口ができることです。これさえ確認できれば、基本的に安全に麻酔ができます。また気道確保の困難が予想される場合は緩徐導入やNLA麻酔下に気管支ファイバーにて挿管など対策を検討します。それから本日の手術後患者さんの経過チェック、そして帰宅。

ペインクリニックは月2～3時間の予約制診療です。脊柱管狭窄症、複合性局所疼痛症候群などの慢性疼痛の方がほとんどです。局所血流を増やすため、また交感神経を抑制するため硬膜外ブロックや自律神経発作を抑える抗痙攣薬、血管拡張薬の投与を行っています。なお急性期の根症状については硬膜外ブロックを行いMRIをもとに脳外科の受診をすすめることもあります。

これからの麻酔：この20年麻酔も大きく変わりました。吸入麻酔では、血液ガス分配係数の低いセボフルラン・半減期の短い麻薬レミフェンタニル・筋弛緩薬ロクロニウム・静脈麻酔薬プロポフォール・筋弛緩拮抗薬スガマデクスなどが使用できるようになりました。手術麻酔は速く効き、深い麻酔からすく醒めるキレのいい麻酔ができるようになりました。ではいったい麻酔とはなんなのか？その糸口になるような症例発表が最近ありました。「抗NMDA受容体抗体陽性脳炎に伴う卵巣腫瘍摘出術の2症例の麻酔経験」NMDA受容体は記憶・学習・脳虚血に関連するものです。この疾患は鎮痛・沈静の問題を解かざりなるかも知れません。麻酔医のみならず、たぶん神経内科医師や精神科医師にとっても興味深いものになると思います。

痛くない術後は、硬膜外麻酔・持続麻酔IV+PCA、区域局所麻酔などに麻酔医は熱心に挑戦しています。さらに麻酔の使い方として、ミュー・カップ・デルタの麻酔受容体があるため、これらのよさを引き出すようミックス投与できる。整形外科の痛み・消化器外科の痛み・年齢による違いなど痛みも様々ですが、これからは多様に麻酔などを使用し手術後に笑顔で過ごすことも可能なはずで。

新しい麻酔科をよろしくお願いいたします。

スタッフ：部長 原保史 麻酔科指導医 平成元年 愛媛大学医学部卒  
顧問 齋藤八郎 麻酔科指導医 昭和49年 京都府立医科大学卒

資料 日本の医療用麻酔の使用状況（厚労省2008）：  
2001年モルヒネ換算量1,086kg、2008年モルヒネ換算量4,152kg。  
参考文献1）臨床麻酔32:59-63,2012



部長 原 保史(左)  
顧問 齋藤 八郎(右)



## 医療法人 財団 康生会 城北病院

### 美容やお肌のトラブルに関するお悩みにお応えします



1.有効成分を微弱電流で肌深部に浸透させる「イオン導入」。メラニンの生成を抑制し、ハリと透明感のある肌へ2.海藻パックは日焼け後のほてり肌をクールダウン。褐藻、メントール、ケイソウ土配合の天然保湿成分が美肌づくりをサポート3.好評のソフィアオリジナルコスメに乳液がラインアップ4.グリシルグリシン(整肌保湿成分)配合の毛穴ケアマスク。週1度入浴後10分程度のお手入れでキメ細かなうるおいを実感。5,250円(5枚入り)

城北病院併設の「メディカルエステソフィア」では、超音波・イオン導入、ハンドマッサージ、海藻パックなどおひとりおひとりの肌質に合った治療を医師の診断に基づき行っています。また、ご自宅での洗顔方法やスキンケアなどもアドバイス。専門医やエステティシャンら「お肌のエキスパート」があなたのお肌の悩みと皮膚トラブルをケアします。お気軽にご相談ください。

(エステティシャン 金林千秋)

#### MENU

- マスクイونت(15分)コース…2,600円～
- マスクイونت+faceトリートメント(30分)…4,700円～
- 毛穴洗浄(15分)…2,100円
- 超音波導入+マスクイونت+海藻パック…8,400円～
- 高周波温熱療法(インディバ)…5,200円～

※スキンケア、メディカルエステの資料を送付します。  
WEBサイトまたはQRコードからご請求ください。



医療法人財団康生会 城北病院  
メディカルエステソフィア  
京都市北区上賀茂岩ヶ垣内町99番地  
(地下鉄北山駅2番出口北へ200m)  
☎ 075-721-1612(代)  
http://www.takedahp.or.jp/JYOHOKU



## 各施設での取り組みをご紹介します

社会福祉法人 青谷福祉会  
特別養護老人ホーム

### ヴィラ山科

#### うれしい訪問

24年1月7日(土)宮川町のお茶屋「たまや」の芸妓さん・舞妓さんと歌舞伎役者片岡秀太郎さんが来られました。普段では味わえない芸舞妓さんとの楽しいひと時を心待ちにされている方もあり、正装の黒紋付き姿で芸舞妓さんが登場されると、場内から感嘆の声が漏れ、「きれいやなあ」とあちらこちらから声が聞こえました。

三味線に合わせ「祇園小唄」などを披露していただき、笛の演奏で「ふるさと」などの馴染みの曲が流れると自然に参加者の方々が口ずさむ声が聴かれました。また片岡秀太郎さんからは「いつまでもお元気で」と激励のお言葉をいただきました。

最後に、芸妓さんや舞妓さん、片岡秀太郎さんと交流する時間もあり、おしゃべりや記念撮影に大いに盛り上がりしました。



社会福祉法人 青谷福祉会

### 加茂町高齢者福祉センター

#### 新年会開催

1月28日(土)にケアハウス新年会を開催しました。入居さんの乾杯の音頭で宴がスタート！新年のお祝い膳に舌鼓を打ち、お酒もどんどん進みました。

食事の後は、カラオケやビンゴゲーム大会で更に大盛り上がり、皆さん景品を手にし、笑顔が弾けていました。

今回も多数のご家族に参加していただき、賑やかで楽しい新年会を過ごすことができました。

今回は、8月に夏のお楽しみ会を開催予定です！



社会福祉法人 青谷福祉会

### 城陽市立東部デイサービスセンター

#### 祝 十周年

城陽市立東部デイサービスセンターは、平成23年12月1日をもちまして十周年を迎えました。12月1日～3日に記念式典を行い、1日は社会福祉法人青谷福祉会 武田道子理事長はじめ城陽市の副市長、市議会議長等多数の来賓の方々にご臨席いただき、盛大に行いました。

第一部は、「十周年の歩み」ということでセンターの取り組みや外出行事、季節行事等をスライドを使い発表。開設当初からの利用者さんはしみじみと10年を振り返られていました。

第二部では、祝宴としてボランティアによるオカリナ演奏がありました。心地よい音色に皆さん酔いしれておられ、アンコールもあり大盛況で式典を終えることができました。

節目を迎え、利用者さんやご家族、地域の方々から多様なニーズが高まる中、職員一同その期待に沿えるよう頑張っております。



医療法人 医仁会

### 老人保健施設 白寿

#### 新築移転

老人保健施設白寿は、下京区で約23年間施設運営をし、平成23年10月末をもって事業を休止しました。平成24年4月1日より伏見区石田に新築移転し開設いたします。京都府下第1号の歴史ある老人保健施設白寿に新たに居宅介護支援事業所、京都市醍醐・南部地域包括支援センター、通所リハビリテーション、おもいやり訪問看護ステーション、福祉用具貸与事業所が統合。地域・福祉・健康・医療の架け橋となり、地域一体となったケアの提供を積極的に担っていける施設を目指します。また思いやりの心を大切に利用者皆さまへ介護を提供していきます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



指定管理者 医療法人 医仁会

### 精華町国民健康保険病院

#### 入院基本料が障害者施設等一般病棟10対1となりました

平成24年1月1日より当院の入院基本料を、障害者施設等一般病棟13対1から10対1へ移行いたしました。これにより看護職員の配置が増え、よりいっそう手厚い看護が可能となりました。

また2月現在、病棟各部屋の窓枠、サッシ、ガラスの交換、入口ドアの取替え、廊下の床を張替え等の工事を行っています。病室内の保温効果が向上し、気持ちよく過ごしていただけます。

ひと、もの両面から入院患者さんの入院中の生活を向上させています。



窓枠

病棟廊下

医療法人 財団 宮津康生会

### 宮津武田病院

#### 各種取り組み等のご案内

##### ◆各種健康診断も実施しています！

当院では、通常の診察以外に、一般健診(定期健診)・人間ドック・特定健診・がん検診等、各種の健診にも対応しております。また、昨年には「協会けんぽ」の健診指定医療機関を取得し、健診費用負担の助成を利用することが出来るようになりました。

##### ◆送迎サービスを行っています

当院へ通院中の患者さんの利便性向上を考え、ご自宅から病院への送迎サービスを実施しています。「遠くて病院に行きたくても行けない。」「何度か通院したいけど交通費がちょっと…」等とお困りの方は、是非ご利用下さい。



### 木津屋橋武田病院

#### お誕生日会に節分をしました

当院では毎月入院患者さんのお誕生日会を開催しています。

今回は、2月1日に節分行事を行い、無病息災を願い鬼のお面をかぶった職員に豆まきをしました。ご家族も一緒になりとても楽しい一日を過ごすことが出来ました。

また、地域の方を交えた催しなども開催しております。ご協力いただける方は当院までお問い合わせください。



医療法人 財団 医道会

### 稻荷山病院

#### 感染性廃棄物散乱訓練を行いました

2月上旬、稻荷山病院看護部では使用後の医療用廃棄物(注射針や点滴セットなど)を廃棄物庫に運搬中誤って転倒し、中から流出・飛散事故が起きたことを想定して回収及び消毒訓練を行いました。これまで重大な事故は起きてはみませんが、従来より具備している「運搬に関する安全上のマニュアル」に基づき、実地訓練により再確認いたしました。また事故を起こさないためにはボックスの蓋を確実に閉めることや、対応品を整備しておくことも改めて認識しました。



## 便潜血について

**Q. 健診で便潜血反応陽性にて要精検といわれたのですが、便潜血反応とはどのような検査ですか？**

**A.** 便潜血反応検査とは、便の中に血液の成分が含まれているかどうかを調べる検査です。現在では、人の血液の成分であるヒトヘモグロビンだけを検出する免疫法という検査法が主流です。食事や内服薬（鉄剤）の影響を受けず、また胃や十二指腸などの上部消化管からの出血ではほとんど陽性にならないため、主に大腸からの出血があるかどうかを調べることを目的としています。

**Q. どのような疾患で陽性になりますか？ 大腸がんですか？**

**A.** 便潜血反応は、大腸がんなどの悪性疾患で陽性になることがある他、比較的若い人においてはクローン病や潰瘍性大腸炎などの炎症性腸疾患が便潜血陽性によって発見されることがあります。また大腸憩室症という大腸にできた小さな袋が炎症をおこし陽性になることもあります。大腸ポリープや痔でも陽性になることがあります。2日間にわたり便を採取する免疫学的便潜血検査2日法において、1000人が検査を受けたとして、便潜血反応陽性を指摘されるのは約50～60人、その後の精密検査で約半数に大腸ポリープが見つかり、大腸がんが見つかる人が約3人とされています。

**Q. 精密検査の方法は？**

**A.** 大腸内視鏡検査や注腸検査という方法がありますが、精度の面から、まずは大腸内視鏡検査が推奨されています。便潜血反応陽性で要精検とされた人が、もう一度便潜血検査を受けて陰性だったとすることで安心しては絶対にいけません。進行がんでも、常に出血しているとは限らず1割から2割は陰性になるからです。食生活の欧米化により我が国でも、大腸がん死亡率が増加しており、がんの中では、胃がんを抜いて、肺がんにつぎ死亡率は2位になっています。1000人中50～60人の方が陽性になる検査であり過剰に不安になる必要はありませんが、陽性の人は陰性の人に比べ大腸がんの確率が10倍高いともいわれておりますので、必ず大腸内視鏡検査を受けられることをお勧めします。



宮津武田病院  
副院長  
**石上 文隆**  
(総合診療科・消化器外科担当)

## コンタクトレンズ装着と角膜内皮細胞減少について



昨年からはでしこジャパンが大活躍しているが、何とこの写真！サッカーボール模様のカラーコンタクトレンズなのです。ここまでひどくなくても今やファッションアイテムの1つとなってしまうカラーコンタクトレンズ。

以前なら目のおしゃれといえば、アイシャドー・アイラインでしたが、最近は、つけまつ毛・エクステ・まつ毛パーマとエスカレートしています。ちなみにエクステとは、まつ毛1本1本を太く長くしてもらうものです。そしてそれでも物足りない女性はカラーコンタクトに走ります。

**Q. 使い捨てコンタクトレンズについて教えてください。**

**A.** 使い捨てコンタクトレンズは常に新しいものを使い続けるため清潔・安全といわれてきました。しかし2週間使用のレンズを3週間、1ヵ月、ひどい人では3ヵ月使い続けている人もいます。最近2週間使用レンズ3枚で、1年間もったという人がいました。使い捨てレンズは、ワンデーなら捨てればよいのですが適切な洗浄液を使わず、水道水を使う人がいます。先日、外来で、なんと点眼薬で洗って装着していた人がいました。もちろん角膜上皮ははがれていて、麻酔の点眼をしなければ開眼（かいけん）もできず、痛みのため1週間仕事を休まれていました。皆さんはきちんと使い捨てていますか？

**Q. 使い捨てコンタクトレンズを使い続けるとどうなりますか？**

**A.** 正しく使っても長年使い続けると角膜内皮細胞が減少することがあります。コンタクトレンズ装着が物理的な障壁となって角膜後面にある角膜内皮の酸素供給を阻害するためです。減少していても自覚症状はないし、内皮細胞は再生しないので要注意で、長寿国日本では将来、多くのコンタクトレンズ装用者が白内障手術を受ける可能性があります。熟練した術者でも白内障手術による角膜内皮細胞密度低下は必発です。コンタクトレンズ装用による内皮減少に手術による内皮減少が加わります。

**ここまで読まれたコンタクトレンズ装用者の皆様へ**

少しドキッとされた方、どうぞ眼科外来へお越しください。角膜内皮測定はすぐに出来ます。



康生会 武田病院  
眼科 部長  
**細田 泰子**

# 気になる病気



このコーナーでは、関心が高い疾患を皆さまにわかりやすく紹介いたします。それと同時に、読者の皆さまからの質問に答えていきたいと思っております。「気になる」疾患等がありましたら、ただだ通信編集部まで意見を寄せ下さい。

● 症状があるときの脈拍数は何もないときと同じか。また触れる間隔はどうか（規則正しいか、ばらばらか）。

も不整脈発作が起らないければ検査上は正常と判断してしまいます。そこでお勧めしたいのが「自分で脈を計測する「自己検脈」です。方法はいたってシンプルで手のひら側の手首、首筋にもう片側の3本の指を脈の触れる箇所にあてる、というものです。症状がある方は症状出現時に測定いただければ結構です。患者さんの中に自宅の血圧計で脈拍数が高かった、とのことでご相談に来られる方がいらっしゃいます。その際、お勧めしている方法でもあります。血圧測定器での脈拍は不整脈の種類によっては（例…心房細動、心房性・心室性期外収縮）正確に表示できないことがあるためです。自己検脈を行うにあたり、大切な点は

- ばらばらであれば常にばらばらか、ほんの一瞬だけ乱れて、その後はもとの規則正しい脈に戻るか。
  - 1分以上持続している場合は10秒間の触れる脈拍数はいくらか。
  - (6倍すれば1分間の脈拍数になる)
  - 脈の結滞（脈が触れるべきタイミングで触れない）がないか。
  - 突然早い脈で出現するか、徐々に早くなる脈で出現するか。
- です。これだけでも不整脈の診断にはかなり役に立ちます。脈の乱れ、動悸等を感じておられる方で他施設で心電図がないと判断できないと言われた方は是非ご自分で検脈を行うことをお勧めします。



自己検脈は手の平側の手首にもう一方の手の3本指を使って計測



長時間心電図(図)や携帯型心電計は不整脈診断には欠かせないツールとなる

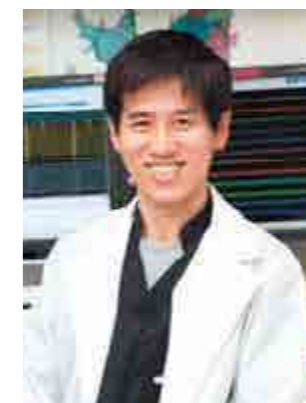
# 不整脈診断の難しさ 「自己検脈」のすすめ

約2年間康生会武田病院不整脈治療センター全栄和先生のもと、カテーテル手技を中心とした不整脈治療を学び、2010年11月より医仁会武田総合病院不整脈科に赴任後、はや1年以上が経とうとしています。院内スタッフのサポートもあり、おかげさまでこの1年間で100名以上の患者さんに対してカテーテル治療を行うことができ、今後適応がある患者さんに対して不整脈薬の服用では決して成し遂げることができない「根治」治

療をより充実させていきたいと思えます。カテーテルを含めた不整脈治療を行うにあたり、適応を含めどのような不整脈が起っているか、診断する必要があります。しかしながら、この診断が思った以上に難しく、スムーズに診療が行かないことが少なくありません。私が以前勤めていたドイツ・ライプチヒハートセンターでは外来紹介患者さんのほとんど（全員と言ってもいいかもしれせん）が不整脈発作時の心電図

がすでに記録できており、心電図を拝見しただけでカテーテル治療の適応、ならびにカテーテル治療成功率の高い不整脈か、否かが瞬時に判断できます。しかしながら他院からご紹介いただく方も含め、当院外来へ来られる患者さんの多くは心臓の鼓動を感じる動悸、胸の痛み、息切れ、倦怠感といった症状があるものの、不整脈発作時、自覚症状出現時の心電図が捉えられていない状況です。診断することによつて初めて診療方針が決まる実臨

床現場において、不整脈発作が捉えられていない状況での治療は極めて難しいと言わざるを得ません。不整脈発作を捉える方法としてはホルター心電図と呼ばれる長時間(24時間)心電図を使用するのが一般的で、外来で簡単に装着・取り外しができ、入院の必要もなく、患者さんへの負担も少なくおすすめです。しかしながら24時間という短い時間内の記録解析のため、不整脈発作が頻回に見られる患者さんでも装着している間、たまたま1度



医仁会武田総合病院  
不整脈科 部長  
江里 正弘





「ここ数年で電子レンジの機能も様変わりし、レンジ用調理器の目覚ましい普及もあって、「毎日活用している」という方や、そうでなくても「レンジは苦手だけど気になる」という方も多いのではないのでしょうか。

電子レンジの調理では「焦げない」のがまず1つの利点です。香ばしさも料理の味の1つではありますが、食品中の水分を利用して加熱するので「煮る」「蒸す」「茹でる」は得意分野。また、従来野菜をゆがいたときに起きるビタミンやミネラル流出が少なくなるのもメリットの1つです。

主食・主菜・副菜を揃えることを意識すると、「バランスの良い食事」をこころがけられます。

今回は、ごく簡単にできる副菜のレシピを取り上げてみました。「野菜1日500g」を目標に、電子調理でプラス1品にチャレンジしてみるのは如何でしょうか。

## レンジの活用で プラス1品の食卓へ

### 電子レンジ調理のメリット

- ◎焦げ付かない。油の節約になる
- ◎ビタミン・ミネラルの流出を防ぐ
- ◎少量での調理がしやすい
- ◎食器で調理でき、後片付けが簡単
- ◎コンロを使っている間に別の調理をすることが出来る

### 電子レンジに不向きな器

金属製のもの、ゴールドやシルバーの柄が入ったもの、漆器やガラス、レンジでは使えないプラスチックの器  
電子レンジに使用できる器  
耐熱ガラス、レンジ用食器、ラップなど

### 電子レンジを使う際のポイント

- \*作りたい料理によって、ラップを使い分けましょう
- ラップあり・しつとりと仕上げる煮物・蒸し物・汁物・葉野菜や根菜
- ラップなし・カラッと仕上げる揚物（キッチンペーパーを敷く）・炒め物・焼き物
- \*ラップをかけるときは、器にぴったりと密着させず、両端を0.5〜1cm開けると程よく蒸気が逃げて、中身も熱くなりすぎず、吹き零れを防ぐことができます
- \*煮物の場合はラップやクッキングシートを落し蓋代わりにすると、少ない煮汁でも上の方まで味がしみ、美味しく仕上がります

### ★レタスとベーコンの クリーム煮 98kcal



**材料(1人分)**  
レタス70g、ベーコン10g、しいたけ1個、牛乳50ml、チキンスープの素小さじ1/2、塩ひとつまみ、コショウ少々、片栗粉・水小さじ1

**〈作り方〉**  
①レタスは手でちぎり、ベーコンは5mm幅にカット、しいたけはスライスする  
②耐熱容器に片栗粉と水以外の食材を入れ、電子レンジで1分加熱する  
③水溶性片栗粉を入れて混ぜ合わせ、とろみがつくまで1〜2分加熱する

### ★キャベツとブロッコリーの 温野菜サラダ 90kcal



**材料(1人分)**  
キャベツ50g、ブロッコリー50g、ツナ缶1/420g、醤油小さじ1

**〈作り方〉**  
①キャベツは1口大にし、芯の部分は薄切りにする  
②ブロッコリーは小房に分ける  
③耐熱容器にキャベツ・ブロッコリーの順に入れ、ラップをして2〜3分加熱する  
④ツナ缶を加えて醤油で味を調える

### ★青梗菜とえのきの 中華スープ 35kcal



**材料(1人分)**  
青梗菜50g、えのきだけ30g、白ごま小さじ1/2、さくらえび小さじ1、水150ml、中華だし小さじ1/2、醤油小さじ1/2

**〈作り方〉**  
①青梗菜の葉の部分は1口大にカットし、茎の部分は削ぎ切りにする。えのきだけは「いしづき」を取ってほぐしておく  
②耐熱容器に食材を入れ、電子レンジで3分ほど加熱する。  
好みでごま油を加えても良い

### ★アスパラとじゃが芋の チーズ焼き 83kcal



**材料(1人分)**  
グリーンアスパラ50g、じゃが芋1/2個50g、ピザ用チーズ10g、塩ひとつまみ、コショウ少々

**〈作り方〉**  
①アスパラガスは皮の硬い部分を除き、3cmの長さに切る  
②①を耐熱容器に入れ、ラップをして電子レンジで1分半ほど加熱し、水にさらす  
③じゃが芋を皮をむいて1口大にし、水にさらす  
④③を電子レンジで3分ほど加熱する  
⑤耐熱容器にアスパラガスとじゃが芋を入れ、塩コショウで味を調えて、チーズをかけ、オーブン機能(もしくはトースター)で焼き色をつける(3〜4分)

稲荷山病院 栄養科  
**安達 綾希子**



## くすりのお話



## 薬物動態から見る服用時間

お薬を手にした患者さんは何を気にされるでしょうか。「病気を治すためどんな薬が出てくるのか」「いつ飲むのか」と確認されると思います。薬剤師は調剤した薬をお渡しする時に、患者さんに薬と薬袋の記載事項を確認していただきます。薬袋には、1日〇回や、朝・昼・夕・夜・眠前に加え、食後・食前・食間などが記入されています。今回は、この「いつ飲むのか」について考えましょう。

### 食への影響

薬には、食後に飲むことにより吸収がよくなり、効果が上がるものがあります。脂質異常症の治療に用いられるEPA製剤のイコサペント酸カプセル剤は、腸からリンパ中への移行に、胆汁酸の分泌や、食物の成分が担体として必要のため、これらを活性化される食直後に服用するのがよいとされています。抗真菌剤のイトラコナゾールカプセル剤もその一つで、空腹時に投与

すると最高血漿中濃度は食直後の約40%にとまるため、空腹時ではなく食直後の服用となっています。

―食前―

逆に、食後に飲むことにより吸収が低下して効果が下がるものがあります。骨粗鬆症の治療に用いられるアレンドロネートは、コーヒーやオレンジジュースで服用することにより吸収低下が起こり、尿中排泄量が約60%減少するといわれています。これは、含有するカルシウムやマグネシウム等の電解質と結合することが原因であり、これらを多く含むミネラルウォーターでの服用も避ける必要があります。したがって、飲む時間は、胃の中に何も無い起床時に水で服用することになります。糖尿病性神経障害の治療に用いられるエパルレスタットは、食前服用と食後服用と比べると、食後服用の最高血漿中濃度が約30%低下します。また、この薬の作用が血糖値の高いときに強く発揮されることから、食前(食事30分前)の服用が推奨されています。

### 薬の効果と食事

薬の効果と食事の関係も考慮する必要があります。

特にインスリン製剤です。最近、超速効型インスリン製剤が用いられることが多くなりました。この製剤は、従来のレギュラーインスリンより作用発現が15分以内と早く、30分以上前に注射すると低血糖を起こす可能性があります。かといって、低血糖を恐れて食後に注射すると血糖値のピークが高くなる可能性があります。食事を留意してから注射してご飯を食べる「食直前投与」をする必要があることが解ります。また、食後過血糖改善剤は、スクラゼやマルターゼなどの活性を阻害して二糖類からグルコースへの分解を遅らせることで食後の急激な血糖値の上昇を防ぐことを目的としています。食事より早く服用する必要があります。飲み忘れの防止のためにも食事の直前に服用するようになっています。

紹介した食事との影響以外にも、ホルモン剤など日中の活性を高くするた

宮津武田病院  
薬局 科長  
**河原 明美**



め朝服用するのがよいものや、喘息などで明け方の効果を高くして発作を抑えるため、夜に服用したほうがよいもの、また、薬の作用が長く続くため間隔をおいて服用する必要のあるものなどがあります。

生活リズムや食習慣は、個々に異なります。薬を服用する時も考慮し、より安全で効果的に薬を使いましょう。



加熱時間は電子レンジの出力、W(ワット)数で異なります。調理するときは手持ちの機種をご確認ください。(今回のレシピでは500Wで調理しました)



# 介護インフラオメガシヨン

今年度の診療報酬と介護報酬の同時改定は、超高齢社会といわれる2025年

問題を見据えた準備の第歩として、社会保障と税の一体改革を踏まえて、2025年までに3回あるうちの1回目を迎えた。国が示すマスタープランは「施設から在宅へ」を前提として、大きく舵を切ったことである。老健施設においては、昭和63年に老健法が改正されて以来、介護保険が始まり特養化が進んでいた方向性を在宅復帰に転換していることが特徴として挙げられる。医療と介護の連携については訪問看護や訪問リハ等の医療系サービスにおいては医療保険と介護保険の制度間の整合がしっかりと図られたことが特徴、次に関連する新設された評価をあげてみる。

訪問系事業の連携では、訪問介護と訪問看護については「看護・介護職員連携強化加算」が新設され、訪問看護師が訪問介護事業所と連携し、たんの吸引等（※）が必要な

利用者に係る計画の作成や訪問介護員に対する助言等の支援を行うとともに、同行訪問して業務の実施状況を確認または安全なサービス提供体制整備や連携体制確保のための会議に出席した場合に算定。（※）たんの吸引等とは口腔内の喀痰吸引、鼻腔内の喀痰吸引、鼻腔内の喀痰吸引、気管カニューレ内部の喀痰吸引、胃ろう又は腸ろうによる経管栄養及び経鼻経管栄養

また、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所との連携に対する評価」は定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所と連携して（届出要）、定期的な巡回訪問や随時の通報を受けて訪問看護を提供した場合に月単位（2020単位）で算定する。

訪問介護と訪問リハビリについては「訪問介護事業所のサービス提供責任者と連携した場合の加算」が新設され、理学療法士、作業療法士又は言語聴覚士が、訪問リハビリテーション実施時に、訪問介護事業所のサービス提供責任者と共に利

用者宅を訪問し、当該利用者の身体状況や屋内の状況、屋内におけるADL等の評価を共同して行い、かつサービス提供責任者が訪問介護計画を作成する上で、必要な指導及び助言を行った場合に3カ月に1回を限度として算定する。

一方、診療報酬改定においても「退院調整加算」を新設し、効果的な退院調整を行うため、退院調整部門を強化し、早期退院を評価。

「地域連携計画加算（入院中1回）」も同様、退院支援計画を策定した患者について、退院後に必要とされる診療や訪問看護等の療養に必要な事項等を含む同計画と同様の内容について患者に説明し、文書を提供し、在宅を担う医療機関等と共有した場合の評価を行う。

また、訪問看護ステーションにおいては「訪問看護基本療養費Ⅲ」の新設により、患者の試験外泊時における訪問看護を拡充するために、外泊時の訪問看護基本療養費を新設した。

以上二部の紹介ではあるが、今回



# 「苦手・疲れる運動」から、「これなら誰でもできる運動」への挑戦

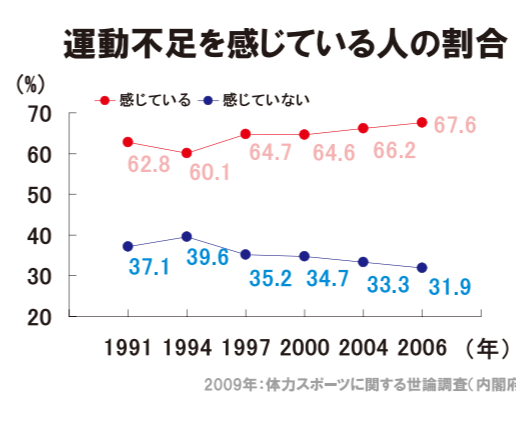
適度な運動が健康によいとされている中、2009年内閣府調査では、1年間に1日以上の運動の日数が、1週間に1日以上は運動の割合は、男女合わせて58.3%でした。しかし、成人の4人に3人は運動不足を感じているようです。2009年国民健康栄養調査（厚生労働省）では、運動習慣のある方の割合は、男性・32.2%、女性・27.0%でした。男女とも60歳以上で30%を超えていましたが、50歳未満の女性は20%以下と運動習慣が少なかったようです。

厚生労働省による運動習慣がある者とは、1回30分以上の運動を週2日以上実施し、1年以上継続している者となります。

運動を行う理由には、①健康体力づくりのため、②楽しみ気晴らしとして、③運動不足を感じるからなどでした（内閣府）。

運動を行わない理由には、①忙しくて時間が足りない、②身体が弱い、③年を取ったから、④好きでないなどでした（内閣府）。

多くの方が運動不足を感じている現代、少しでも長く健康でいるため



に、体力を維持する運動を行うことが必要です。しかし、有効な運動習慣を実施するのは難しいようです。2006年厚生労働省健康づくりのための運動指針では、身体活動を「生活活動」と「運動」に分けて説明しています。運動が出来なくても、生活活動を増やすことで、運動不足を解消することが勧められています。今回は、運動が「苦手」「疲れる」と感じている運動習慣が少ない方々に実施していただける生活活動レベルの運動を紹介します。

1、動き始めに疲れを感じる時はありませんか？ストレッチ体操を毎日実施しましょう

1. 伸びている部分を意識しましょう
2. 息を吐かないようにしましょう
3. 気持ちよく伸びていると感じる所で10〜15秒姿勢をとめましょう

①背・腰  
背中を丸め、腰背部、背筋を伸ばす

②大腿部の内側  
座った姿勢で足を左右に広げ、両手両膝を外側へ広げる

③大腿前部  
片足を椅子からずらして座り、脚を前後に広げる。前脚の膝は曲げ、後ろ脚は後方へ伸ばす（左右）

④脚後部  
椅子に座り前方に片足を伸ばし（床に踵をつけ、爪先は、天に向けて）脚の後部を伸ばす（左右）

2、筋力づくり運動  
体を支える力は維持していますか？  
1回の動きは5秒程度10〜20回繰り返す。  
2〜3日1日、1日2〜3セット

①腹筋  
背中を丸め腹部を締め、胴体を後ろへ倒す。戻す時は、背の筋を締め、胴体を伸ばし、起こす

②大腿四頭筋  
膝の曲げ伸ばし（膝を曲げた時膝が爪先より前に出ないように、膝を90度程度曲げる）

3、リラックス体操  
（疲れた時に実施しましょう）

- ①肩の上げ下げ  
始めに、肩の力を抜き、次に肩をゆっくり上げ、支えながら下ろす。3〜5回繰り返す
- ②肩回し（前後）  
肩を前↓後↑の位置と回転する逆も行う。各3〜5回繰り返す

ご案内  
康生会クリニックでは、担当医師の指示の下、生活習慣病や心臓・血管疾患治療後の皆様の、運動療法を個別に行っております。  
是非、一度ご相談下さい。

医療法人財団康生会 康生会クリニック  
健康運動指導士 科長  
**今井 優**

武田病院グループ  
本部福祉事業部 部長

小林 啓治

の改定で医療と介護の連携や病院施設と在宅との切れ目の無い連携が重視された改定であることは目瞭然である。当グループにおいてもこのKey wordは重要な課題であり、それぞれの機関が有機的な連携をより強化することは言うまでもなく、それぞれの拠点である地域の関係機関との連携により一層の注力をし、冒頭にあげた2025年問題への体制を本格的に整える時期が来たことを実感する。



## 武田病院グループ人材育成について

### 武田病院グループ中間管理者研修を終えて

武田病院グループでは、このたび本  
部管理部門と看護部人材センターが  
初めて多職種合同の中間管理者研修  
を企画しました。

目的は、「中間管理者に求められる  
知識を習得し、役割を遂行できる」と  
し、目標は①適正な勤務時間管理を  
行い、恒常的超過勤務の縮減ができ  
る。②部下の心身の健康管理ができ  
る。③部下との信頼関係を構築し、働  
きやすい職場環境づくりができる。以  
上の3点を挙げ、2回開催しました。

第1回目は平成23年7月23日(土)  
参加人数は104名。テーマは「就業  
規則と労務管理」で、社会保険労務士  
須藤高明先生より労働基準法と就業  
規則について講義をいただいたあと、グ  
ループワークで職場における労務管理  
上の課題を明らかにしました。

第2回目は平成24年1月21日(土)  
参加人数は82名。テーマは「勤務時間  
管理と働きやすい職場づくり」とし、  
第1回目の研修で明らかになった各々  
の課題と取り組み経過をまとめても  
らい、代表の4名に実践報告をしてい  
ただきました。

以上の経過を踏まえ、「次年度の課  
題設定とプラン策定表」について検討  
を行いました。まず、①所管部署のあ  
るべき姿、②職場の現状、③課題、④計  
画に対する自分の考えをまとめる個  
別作業、↓グループワーク↓全体討議  
へと進めました。

この合同研修は、原則第1回目と2  
回目の継続参加としました。  
中間管理者が自らの課題達成に向  
けて取り組み評価するという一連のプ  
ロセスを展開することで、自己の役割

や責務を主体的に実践できる能力を  
養うことをねらいとしました。グルー  
プワークでは、「時間外勤務を縮減す  
るためには?」「部下のやる気を引き  
出すには?」「働きやすい職場とは」等  
など、真剣に活発な意見交換が行わ  
れました。

研修後のアンケートでは、ほとんどの  
参加者が「グループワークを通して課  
題設定の考え方が理解できた」「研修  
を通して自らの役割における課題が  
明確になった」「他職種から刺激を受  
けた」「実践報告の内容は大変参考に  
なった」等の意見をいただきました。多  
職種合同の研修は相互理解の場とな  
り、職種間の垣根を越え、武田病院グ  
ループの二員であるという帰属意識を  
高め、今後の連携協働に繋がる意義  
ある研修になったのではないと思わ  
れます。

年一回程度は合同研修を企画して

### 第3回武田病院グループ看護研究発表会を開催しました

去る2月5日(日)、京都市左京区の京都教育文化センターにおいて、  
第3回 武田病院グループ看護研究発表会が開催されました。メイン  
テーマは、「つなごう、みんなの力」です。



発表会には、グループ内9病院をはじめ合  
計24施設から、275人が参加、特別ゲスト  
として、京都光華女子大学看護学科より2  
名の先生方がご参加されました。  
発表に先立って、実行委員長の宇治武田  
病院 塚本 美晴看護部長より、「私たち看  
護・介護に従事する者には、医療とくらしの  
かけ橋をつくりあげる努力を重ねていくこ  
とが、地域社会より求められています。他の  
施設の専門職者が何に疑問をいだき、何を  
学んでいるかを知ることが、これからの行動  
実践の変化へと結びつくことでしょう」と述  
べ、来賓を代表して医仁会武田総合病院  
森田 陸司院長より、「はじめは10演題の発  
表から、3回目は、22演題へと増え、  
内容も多岐に渡るようになってきました。  
今後の発展に強い息吹を感じます。」との挨拶  
がありました。

ウイラ稲荷山の「生への援助」最後までこ  
だわりを貫くターミナルケア」では、呼吸  
が苦しくても吸引などの処置を拒む利用  
者の尊厳とQOLを維持するための具体的  
な取り組みが発表されました。終末期ケア  
に携わる職員のメンタルケアについての質問  
には、「タッチングや傾聴など生きていることを  
支援するケアをスタッフみんなでシートを用  
いて振りかえることで、自己効力感が高まっ  
た」など、活発な意見交換が行われました。  
今回、初めて設けられた後見コーナーで  
は、時間内に聞けなかったことについて発表  
者に直接質問したり、「この取り組みを私の  
施設でも実践してみたいので、工夫した点や  
用具、記録用紙など教えて欲しい」などの要  
望もあり、盛んな意見交換、情報交流がお  
こなわれました。  
すべての発表を終え、武田病院グループ



来賓祝辞



福祉部門からの発表



後見コーナー

表1. 看護研究発表会参加数

	第1回 (2010.02.11)	第2回 (2011.02.06)	第3回 (2012.02.05)
演題数 (施設数)	10 (5)	15 (12)	22 (15)
参加者数 (施設数)	215 (16)	261 (16)	275 (24)

表2. 共同研究による発表演題

1. 健診後の二次健診に繋げるために
2. 特定保健指導の現状と課題
3. 武田病院グループ統一糖尿病パンフレット作成を試みて
4. 口腔ケアプロジェクト活動報告
5. プリッジの会活動報告

(看護部人材センター)

病院見学や就職を希望される方、プリッジの会の活動を詳しくお知りになりたい方は、  
下記、武田病院グループ看護部人材センターへご連絡、お問い合わせください。

TEL:075-354-7117 FAX:075-354-7118  
e-mail:nurse@takedahp.or.jp URL:http://takedahp.or.jp/nurse/



携帯サイト



(武田病院グループ本部  
管理部門  
看護部人材センター)

欲しいとの要望も多くあり、武田病院  
グループのスケールメリットを活かした  
研修を今後も企画したいと考えてい  
ます。

24時間体制で手厚いスタッフを配置  
救急救命医療を軸に、地域を支える地域医療支援病院

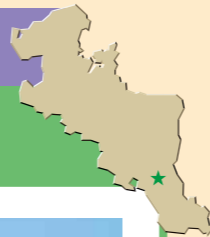
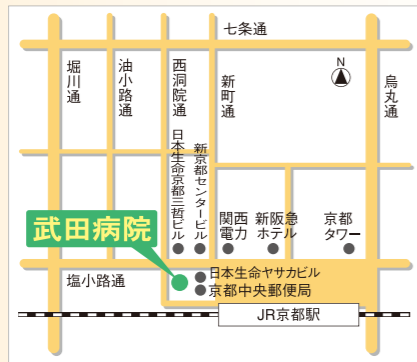
# 医療法人 財団 康生会 武田病院



沿革	
1970年10月	武田病院開業(41床)
1979年5月	新築移転開業(132床) 循環器疾患に対する24時間診療体制を 民間病院として初めて導入 ICU-CCUを設置
1981年2月	増築竣工(185床)
1984年8月	増築及び改築竣工(300床)
1997年10月	「医療法人財団 康生会」に法人化
1999年4月	西館竣工(外来部門・放射線部門・ リハビリ室・透析室増設)
2001年3月	日本医療機能評価機構認定
2002年12月	「ISO14001」の認証取得
2003年4月	臨床研修指定病院に指定
2004年5月	睡眠呼吸医療センター 運用開始
2006年1月	日本医療機能評価機構認定を更新(ver.5.0)
12月	地域医療支援病院に承認
2007年5月	厨房・消化器センター(内視鏡室)改修工事
6月	救急リハビリ室改修工事
2008年12月	電子カルテシステムへの完全移行 環境マネジメントシステム認証から自己宣言へ
2010年6月	「ISO9001:2008」の認証取得
2011年6月	日本医療機能評価機構認定を更新(ver.6.0)
2012年1月	許可病床 300床から394床

## DATA

- 院長／葛谷 英嗣
- 病床数／総病床数394床 ICU-CCU10床、開放型病床15床、血液透析28床
- 診療科目／内科、循環器内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心血管外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科  
〈循環器センター〉〈消化器センター〉〈呼吸器センター〉〈透析センター〉  
〈神経脳血管センター〉〈神経免疫センター〉〈睡眠呼吸医療センター〉  
〈不整脈治療センター〉
- 専門外来／不整脈科、糖尿病外来、乳腺外来、  
内分泌・甲状腺外来、高血圧・内分泌外来、腎臓内科外来、  
直腸肛門外来、睡眠時無呼吸外来、形成外科外来、脳疾患予防外来、  
肩関節外来、物忘れ外来、筋電図外来、多発性硬化症外来、  
腎不全外来、セカンドオピニオン外来
- 告示・指定／地域医療支援病院、救急告示病院、臨床研修指定病院、開放型病院、  
日本医療機能評価機構認定病院、ISO9001:2008認証
- 受付時間／午前8時～12時30分／午後1時～4時
- 診療時間／午前9時～12時30分／午後2時～4時  
※急患は24時間受付しています
- 住所／〒600-8558 京都市下京区塩小路通西洞院東入東塩小路町841-5
- TEL／075-361-1351(代表)
- FAX／075-361-7602
- アクセス／JR「京都駅」より徒歩5分



守備範囲は救急および高度医療からリハビリ、在宅にいたるまで  
総合的な診療体制を整える地域のヘルスケアリーダー

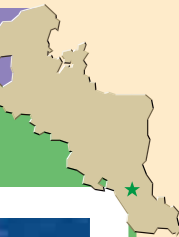
# 医療法人 医仁会武田総合病院

沿革	
1976年7月	第二武田病院開業
12月	医療法人医仁会第二武田病院に変更
1979年4月	総合病院指定
1980年4月	300床に増床
1985年2月	腎臓石治療センター竣工
4月	MRIセンター設置
1987年7月	医仁会武田病院を医仁会武田総合病院 に名称変更、500床に増床
1988年6月	リハビリセンター竣工
	心疾患運動リハビリ開始
1993年4月	臨床研修病院に指定
1998年2月	日本医療機能評価機構認定
1999年9月	臓器提供シミュレーション実施
2000年4月	疾病予防センター開設、 歯科医師臨床研修指定病院
2002年2月	医仁会武田総合病院 西館開設
10月	回復期リハビリ病棟運用開始
2003年5月	救急医療センター開設
9月	医療通訳モデル事業開始
2004年2月	日本医療機能評価機構認定病院更新(Ver.4.0)
9月	365日リハビリ訓練開始
2005年1月	ISO14001拡大認証 井水設備新設
2006年4月	京都市臨海・西部地域包括支援センター 開設 地域医療連携室 居宅支援事業部 開設
7月	DPC準備病院
2007年5月	体外衝撃波結石破砕装置 最新型更新
2008年2月	日本医療機能評価Ver.5.0更新
4月	DPC対象病院
2009年5月	電子カルテ導入
2011年1月	圧迫骨折に対する風船によるセメント治療(BKP)開始 手術支援用ナビゲーションシステム導入 ANGIOシステム(脳血管・循環器) バイブレーションシステムの更新
2月	脳卒中ケアユニット(SCU)3床 開設
4月	中国人留学生受入開始
7月	がん患者サロン開設
11月	京都府がん診療推進病院 指定



## DATA

- 院長／森田 陸司
- 病床数／総病床数500床 SCU3床、ICU-CCU10床、開放型病床25床、  
血液透析34床
- 診療科目／総合診療科、血液内科、神経内科、呼吸器内科、呼吸器外科、消化器内科、  
循環器内科、小児科、外科、整形外科、心血管外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、  
産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、歯科・口腔外科、病理  
〈糖尿病センター〉〈血液透析センター〉〈健康管理センター〉〈救急医療センター〉  
〈附属リハビリセンター〉〈疾病予防センター〉〈脳卒中センター〉  
※特定健康診査実施施設
- 専門外来／小児アレルギー外来、不整脈科、小児神経外来、小児循環器外来、  
神経筋外来、胆石外来、直腸肛門外来、頸変形成症外来、頸関節外来、  
甲状腺・内分泌外来、糖尿病外来、乳腺外来、小児喘息外来、乳児健診、  
更年期外来(産婦人科)、栄養相談、血液透析、ヘルニア(脱腸)外来、  
皮膚良性色素性疾患レーザー外来、手術外来(産婦人科)、妊婦外来(産婦人科)、  
小児整形外科、褥瘡外来、脳波外来、神経筋クリニック、小児心療外来
- 告示・指定／救急告示病院、日本医療機能評価機構認定病院、臨床研修指定病院、  
歯科医師臨床研修指定病院、開放型病院、京都府がん診療推進病院
- 受付時間／午前8時～12時／午後5時～7時  
※耳鼻科外来の午前診の初診の受付は午前11時まで。
- 診療時間／午前9時～12時／午後5時30分～7時  
※日祝日は休診。ただし、急患は24時間受入。
- 休診日／日・祝
- 住所／〒601-1495 京都市伏見区石田森南町28-1
- TEL／075-572-6331(代表)
- FAX／075-571-8877
- アクセス／JR「六地藏駅」より徒歩12分、  
京阪バス「武田総合病院前」下車  
スグ「石田」より徒歩5分、地下鉄  
東西線「石田駅」より徒歩2分、  
醍醐コミュニティバス  
「武田総合病院前」下車すぐ、  
京阪電車「六地藏駅」より徒歩15分
- 駐車料金／有料／台数 200台



### ■地域医療支援病院

循環器内科インターベンション治療をはじめ心臓血管外科や脳神経外科、消化器内科など手厚いスタッフで24時間の受け入れを行う救急医療を中心に、急性期に軸足を置いた医療を展開。地域医療の中核を担う地域支援病院として、他の医療機関との更なる連携体制にもつとめています。

### ■幅広い分野に及ぶ高度先進医療を行っています

武田病院は、1970年の開設以来、救急救命医療に力点を置き、様々な医療サービスの提供に取り組んできました。特に救急分野においては、近隣他病院に先駆けてICU/CCUを設置。循環器内科や心臓血管外科、脳神経外科、消化器内科をはじめとする24時間体制で救急患者の受け入れを実現しています。年間の救急搬入件数は4,100件以上にのぼります。

### ■平成23年度 診療実績

入院延患者数	94,879人	(前年実績 93,760人)
外来延患者数	183,977人	(前年実績 181,240人)
平均在院日数	14.6日	(前年実績 13.0日)
救急件数	4,170件	(前年実績 4,524件)
病床利用率	91.8%	(前年実績 85.6%)
新患率	12.6%	(前年実績 12.5%)
全手術症例数	1,612件	(前年実績 1,571件)
心臓血管カテーテル件数	890件	(前年実績 978件)
不整脈アブレーション件数	299件	(前年実績 282件)
心臓血管外科手術件数	142件	(前年実績 193件)
ペースメーカー植込み件数	81件	(前年実績 70件)

### ■地域に根差し、総合的な診療を展開

医仁会武田総合病院は、洛東・洛南のベッドタウンに位置し、地域の中核病院としての役割を担っております。現在、21の診療科目と30に及ぶ専門外来を有し、救急医療センター、ICU・CCU・SCUを始め、消化器センター、糖尿病センター、総合リハビリセンター等を配置しており、地域のあらゆるニーズに対応しうる体制を確立しています。

### ■充実の24時間救急体制

武田総合病院救急医療センターでは、内科・外科・脳神経外科・循環器内科・産婦人科・小児科の6診療科の各医師が24時間365日待機し、年間延べ4000人以上の救急患者さんを受け入れています。また民間病院でいち早く臓器提供病院の指定を受けていることも、急性期医療、特に救急医療へ力点を置いていることを象徴しています。脳卒中ケアユニットを設置し、多職種からの専門チームにより、24時間365日体制で脳卒中急性期患者さんの治療にあたっています。

### ■医療者養成を積極的に推進

平成5年に臨床研修指定病院、平成12年には歯科医師臨床研修病院の指定を受け、次世代を担う医師を養成しております。その他、医科大学や看護師・助産師養成校またコメディカル(臨床検査技師他)等の各種実習生の受入を積極的に行なっております。

### ■患者さん中心の医療の取り組み

医仁会武田総合病院は、「患者さん中心の医療」を実現するため、様々な取り組みをしています。

- クリティカルパスを通じて、患者さんに治療スケジュールの理解や、積極的に治療に参加していただける医療を推進しています。
- 医療スタッフと患者さんとの十分なコミュニケーション、密なパートナーシップにより良い治療を実現するため、インフォームド・コンセントを重視しています。
- 患者さんと診療情報を共有し、納得の医療を実現するために、希望する患者さんにカルテ開示を行なっております。
- 患者さんが十分に納得できる治療の提供に向けて、外部医療機関に対するセカンドオピニオン聴取のご希望に随時お応えしております。
- 患者さんの「かかりつけ医」との共同診療を行なう開放型病院を推進することで、患者さんが安心・信頼いただける質の高い医療を提供しています。

皆様の健康で生き生きとした生活のサポートをめざし  
病気の治療や予防はもとより、美容に関する悩みにも対応

医療法人 財団 康生会 **城北病院**

**DATA**

- 院長/栗岡 成人
- 病床数/総病床数60床
- 診療科目/形成外科、皮膚科、美容皮膚科、内科、消化器内科、循環器内科、整形外科、歯科、矯正歯科、歯科口腔外科、小児歯科 ※特定健康診査実施施設
- 専門外来  
美容治療(レーザー・トニング・フラクセルII・フォトRF・各種レーザー手術・ケミカルピーリング・ボトックス・ビスタブラス・医療脱毛)禁煙外来、循環器外来、下肢静脈瘤外来、歯科診療(入院を伴う歯科口腔外科手術、インプラント、審美歯科、予防歯科)
- 医科診療時間/午前9時~12時 午後1時30分~3時30分  
午後5時30分~8時 (一部予約制)
- 歯科診療時間/午前9時30分~12時 (月・水・金)午後2時~7時  
(火・木)午後2時~5時 (予約制)(休診日 土日祝)
- 住所/〒603-8053  
京都市北区上賀茂岩ヶ垣内町99番地
- TEL/075-721-1612(代表)  
075-721-1631(歯科)
- FAX/075-701-7399
- アクセス/地下鉄烏丸線「北山駅」、2番出口より徒歩3分
- 駐車場/無料(1時間)/30台



城北病院では風邪や腹痛、肩こり、腰痛などの病気から、生活習慣病の治療や予防、循環器、整形外科、皮膚疾患の専門診療まで対応しています。特に美容皮膚科・形成外科では、さまざまな美容に関する悩み、お肌のトラブルに、レーザー・トニング、フラクセル、フォトRF、メディカルエステなどによる最新の治療を提供しています。  
また、禁煙、下肢静脈瘤の専門外来を設置し、武田病院グループや地域の医療機関とも密接な連携を保って患者様により良い医療を提供できるように努めています。

**沿革**

- 2003年 1月 城北病院を承継
- 2005年 1月 関連施設「メディカルエステンフィア」開設
- 7月 医療法人財団康生会と合併
- 2006年 4月 外来棟を新設・総合歯科診療開設
- 2007年 4月 本館(入院棟)改修工事を完了

救急医療からリハビリテーションまで幅広い機能を整備  
「家庭復帰」を目標に医療と在宅との架け橋となる地域の総合医療機関

医療法人 財団 医道会 **十条リハビリテーション病院**

**DATA**

- 院長/若林 詔
- 病床数/総病床数182床 開放型病床5床、回復期リハビリテーション病棟99床、血液透析ベッド20床
- 診療科目/内科、循環器内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、リハビリテーション科、心療内科、皮膚科、麻酔科  
(うつ予防医療センター)〈糖尿病センター〉〈血液透析センター〉  
(総合リハビリテーションセンター)
- 専門外来/糖尿病外来、甲状腺外来、免疫・リウマチ外来、睡眠時無呼吸外来、禁煙外来、乳腺外来
- 告示・指定/救急告示病院、開放型病院、日本医療機能評価機構認定病院
- 受付時間/午前8時~12時/午後4時30分~8時(夜診)
- 診療時間/午前9時~12時/午後5時30分~8時(夜診)
- 専門診/午後1時30分~3時(曜日により異なりますので詳細をお問い合わせ下さい)
- 休診日/日祝
- 住所/〒601-8325  
京都市南区吉祥院八反田町32番地
- TEL/075-671-2351(代表)
- FAX/075-671-2961
- アクセス/市バス「羅城門」を南へ徒歩7分、「千本十条」より徒歩1分、近鉄線「十条駅」から西へ徒歩15分
- 駐車料金/有料/台数 34台



急性期の治療を脱した患者さんへの365日の回復期リハビリテーションを中心に、障害を持たれた患者さんが早期に社会復帰していただくための機能を有しています。  
また、救急部門をはじめ、6つの専門外来、さらに昨今の高齢化社会を見据え、糖尿病センター、血液透析センター、うつ予防医療センターを開院しております。  
患者さんが初期に接する家庭医療が容易に得られる身近な病院です。

**沿革**

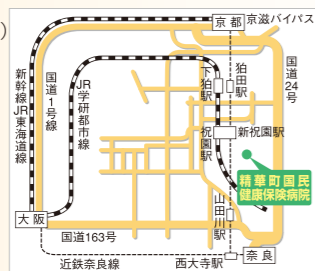
2001年 11月	医療法人大羽病院(大羽病院・第二大羽病院)を承継し運営を開始	2008年 4月	特殊疾患入院施設管理加算(39床)施設基準 回復期リハビリテーション1(2F病棟)
2002年 2月	法人名変更 医療法人財団医道会	8月	施設基準 回復期リハビリテーション2(3FA病棟)
2003年 11月	病院名変更 第二大羽病院→十条病院 既存棟(東館)3階改修工事完成	2010年 4月	回復期増床 60床→99床 医療機能評価Ver.5.0認定 施設基準 併行リハビリテーション 提供体制加算
12月	既存棟(東館)2階改修工事完成	2011年 7月	増改築工事完了 リニューアルオープン 総合リハビリテーションA施設-特殊疾患 入院施設管理加算(44床) 3F病棟 運用開始
2004年 4月	増改築工事完了 リニューアルオープン 総合リハビリテーションA施設-特殊疾患 入院施設管理加算(44床)		障害者施設等一般病棟(44床) 3F病棟にて運用開始
6月	3F病棟 運用開始		
9月	回復期リハビリテーション病棟(39床) 3階A病棟にて運用開始		
2005年 9月	名称変更 十条リハビリテーション病院		
2006年 8月	一般病床(80床)、回復期リハビリテーション病棟(60床)		

地域住民の方々とともに歩んで50余年  
健康保持・予防医学の徹底・普及に努めています

指定管理者 医療法人 医仁会 **精華町国民健康保険病院**

**DATA**

- 院長/青山 英久
- 病床数/総病床数50床 (障害者施設等一般) 血液透析20床
- 診療科目/内科、外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、歯科、口腔外科、小児歯科、矯正歯科  
(透析センター)
- 専門外来/循環器科、心療内科、呼吸器科、腎臓内科
- 告示・指定/救急告示病院
- 診療時間/月~金:午前8時30分~12時  
土曜日:午前8時30分~11時30分
- 休診日/日祝
- 住所/〒619-0241 京都府相楽郡精華町祝園砂子田7番地
- TEL/0774-94-2076(代表)  
0774-94-2640(歯科)  
0774-94-3251(透析センター)
- FAX/0774-93-2818
- アクセス/JR学研都市線「祝園駅」、近鉄京都線「新祝園駅」下車、東へ徒歩2分  
京奈和自動車道精華学研ICから10分
- 駐車料金/無料/台数 32台



精華町国民健康保険病院は、06年から医療法人医仁会が指定管理者として運営を開始。  
これまで培った、地域の方々とのつながりを大切に、開業医の先生との連携を深めながら、地域における健康保持・予防医学の徹底・普及に努めます。また、血液透析(20床)、歯科(矯正歯科・小児歯科・歯科口腔外科・インプラント)の治療も充実しています。

**沿革**

- 1953年 精華町国民健康保険直営診療所として発足
- 1959年 精華町国民健康保険病院に名称変更
- 1982年 新病院施設完成
- 2006年 4月 武田病院グループ・医仁会を指定管理者として運営を開始
- 2007年 5月 歯科・透析センター運用開始

最新の医療機器と充実の療養環境を備え、裾野の広い医療を実践  
地域の人々の信頼のもと、地域医療に貢献する開かれた病院

**宇治武田病院**

**DATA**

- 院長/勝見 泰和
- 病床数/総病床数177床 開放型病床15床、血液透析50床
- 診療科目/内科、神経内科、消化器内科、循環器内科、アレルギー科、リウマチ科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、肛門外科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科、歯科口腔外科、麻酔科  
(血液透析センター)〈放射線治療センター〉〈健診センター〉〈高次脳機能センター〉〈リハビリセンター〉  
※特定健康診査実施施設 ※特定保健指導実施施設
- 専門外来/糖尿病外来、呼吸器外来、小児発達外来、小児循環器外来、小児喘息外来、ペースメーカー外来、心筋症・心不全外来、乳腺外来、上肢の外科外来、スポーツ外来、ペイン外来、睡眠時無呼吸外来、甲状腺外来、もの忘れ外来、失語症外来
- 告示・指定/救急告示病院、開放型病院、日本医療機能評価機構認定病院、臨床研修指定病院、歯科医師臨床研修指定病院、人間ドック健診施設機能評価認定
- 受付時間/午前8時30分~11時30分/午後12時45分~4時15分  
※診療科は診療担当表をご参照下さい。(予約可)
- 診療時間/午前9時~12時 午後1時15分~5時
- 休診日/日祝 但し、急患は24時間受付。
- 住所/〒611-0021  
京都府宇治市宇治尻36-26
- TEL/0774-25-2500(代表)
- FAX/0774-25-2353
- アクセス/JR奈良線宇治駅から徒歩3分、京阪宇治線宇治駅から徒歩10分
- 駐車料金/有料/台数 201台



放射線がん治療機「トモセラピー」をはじめMRI(1.5T)CT(64列マルチスライス)など高度な医療機器を一新、プライバシーを重視した個室で明るい療養環境の病室を整備し、平成19年4月に新築した一般病院(177床)です。  
21の標準診療科と専門外来、放射線治療センターや全自動透析器整備の血液透析センター、明るく広大なリハビリセンター、高次脳機能センターと健診センターを併設。隣接の特別養護老人ホームと併せて、安心で安全な医療と福祉を地域に提供しています。

**沿革**

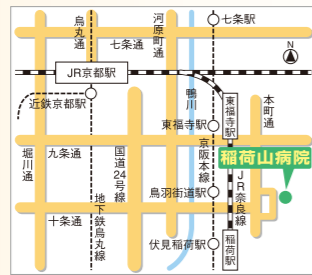
2002年 4月	ユニチカ中央病院を承継し 宇治武田病院を開設
2003年 3月	開放型病床運用開始
2006年10月	歯科医師臨床研修病院指定
2007年 4月	宇治武田病院新築移転 放射線がん治療機トモセラピー導入 透析センター運用開始
2008年 4月	人間ドック健診施設機能評価認定
2009年 2月	日本医療機能評価機構認定
9月	臨床研修病院指定

緑豊かな自然や開放的な雰囲気など快適な療養環境を整備  
内科系疾患を中心に広く地域に根ざした医療を展開しています

医療法人 財団 医道会 **稲荷山病院**

**DATA**

- 院長/田中 友二
- 病床数/総病床数55床 (障害者施設等一般)
- 診療科目/内科、呼吸器内科、胃腸内科、循環器内科、外科、整形外科、肛門外科、泌尿器科
- 専門外来/糖尿病
- 告示・指定/日本医療機能評価機構認定病院
- 受付時間/午前8時30分~12時
- 診療時間/午前9時~12時
- 休診日/日・祝
- 住所/〒612-0801 京都市伏見区深草正覚町27番地
- TEL/075-541-3371(代表)
- FAX/075-532-5115
- アクセス/京阪電車「鳥羽街道駅」東へ徒歩5分 JR奈良線「稲荷駅」北へ徒歩10分



東山連峰の南端に位置し、付近に東福寺や伏見稲荷大社を臨む、緑豊かで閑静な立地環境のもと、内科系疾患を中心に広く地域に根ざした医療を実践し、安心して入院生活を送っていただける体制を整え、隣接する特別養護老人ホーム「ヴィア稲荷山」との連携を密にしています。また、平成24年秋には、がんに伴う苦痛やつらさを和らげる専門的な治療・看護を提供する、緩和ケア病棟の立ち上げを目指しています。

**沿革**

2001年11月	医療法人大羽病院(大羽病院・第二大羽病院)を承継し運用を開始
2002年2月	法人名変更 医療法人財団医道会
2004年9月	名称変更 大羽記念病院 介護保険適用病床36床を 医療療養型病床へ変更
2005年9月	名称変更 稲荷山病院
2006年2月	ISO14001 グループ認証
2006年7月	医療療養病床55床を一般病床 (障害者施設等一般病棟)へ変更
2009年7月	日本医療機能評価認定(Ver.5.0)
2010年4月	日本老年医学会認定施設認定

幅広い医療の提供によって、地域住民の方々の健康的な暮らしを支えるホームドクター

**武田病院グループ診療所**

医療法人 財団 康生会

**康生会クリニック**

京都駅前という交通至便な立地にて多くの生活習慣病関連の専門診療科と歯科口腔外科を併設した多機能なクリニックです。

- 所長/武田 定子●診療科目/内科、小児アレルギー科、歯科口腔外科●診療時間/午前9時~12時/午後2時~4時●休診日/日・祝
- 住所/〒600-8231 京都市下京区油小路通下魚ノ棚下の油小路町277●TEL/075-354-7227●FAX/075-354-7228
- アクセス/JR「京都駅」より徒歩5分



医療法人 財団 康生会

**柳馬場武田クリニック**

プライマリーケア・往診・訪問看護・定期健診(特定健診)を担当しています。

- 所長/浅沼 光太郎●診療科目/内科、神経内科、皮膚科、整形外科、リハビリテーション科、眼瞼けいれん・斜頸・ジストニア外来 ※特定健康診査実施施設●診療時間/午前9時~午後1時(月~金)/午後2時~5時(月~金)●休診日/土・日・祝●住所/〒604-8113 京都市中京区柳馬場通六角下る井筒屋町430-1●TEL/075-213-2216●アクセス/地下鉄四条駅・阪急電車烏丸駅 徒歩約8分●タケダライフサイエンス・リサーチセンター 2F



医療法人 財団 康生会

**原田クリニック**

外科・胃腸科・肛門科・リハビリテーション科・乳腺外来の診療を中心に内科系疾患にも対応、乳がん検診の普及にもつとめています。定期健診(特定健診)も随時受け付けております。

- 所長/原田 善弘●診療科目/外科、胃腸科、肛門科、リハビリテーション科、乳腺外来●診療受付時間/午前9時~12時/午後2時~4時(火・金のみ)/午後6時~8時(月曜のみ)●休診日/日・祝●住所/〒610-0121 京都府城陽市寺田水度坂15-146●TEL/0774-52-5779●FAX/0774-55-1019●アクセス/JR奈良線「城陽駅」より徒歩3分、近鉄京都線「寺田駅」より徒歩15分



指定管理者 医療法人 医仁会

**辰巳診療所**

内科・小児科および外科疾患にも対応し、地域住民の方々の健康に対する幅広いニーズにお応えできるよう往診や訪問診療及び定期健診(特定健診)も随時受け付けております。

- 所長/上田 忠●診療科目/内科、小児科、外科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、整形外科、リハビリテーション科●診療受付時間/午前9時~12時(月~土)/午後1時30分~4時30分(第2、4火のみ)/午後5時~7時(月・水のみ)●休診日/日・祝●住所/〒601-1345 京都市伏見区醍醐外山街道町21番地●TEL/075-571-8545●FAX/075-571-8555●アクセス/醍醐コミュニティバス「東合場町」バス停下車徒歩2分



医療法人 財団 康生会

**京都壬生苑診療所**

介護付終身利用型有料老人ホーム「ウエルエイジみぶ」の入居者の方々を対象とした診療所です。

- 所長/渡邊 裕子●診療科目/内科・神経内科●住所/〒604-8821 京都市中京区壬生郷ノ宮町31●TEL/075-823-3371●FAX/075-822-6550



地域の患者さんのニーズに的確に応えられる  
安心でやさしい医療の提供を目指しています

医療法人 財団 宮津康生会 **宮津武田病院**

**DATA**

- 院長/曾根 淳史
- 病床数/総病床数77床 (障害者施設等一般)
- 診療科目/内科、消化器内科、循環器内科、外科、消化器外科、肛門外科、皮膚科、形成外科、整形外科、泌尿器科、麻酔科、人間ドック ※特定健康診査実施施設
- 受付時間/午前8時30分~11時30分 午後1時30分~4時30分  
※土曜日の診察受付は午前11時30分まで
- 診療時間/午前9時~12時 午後2時~5時  
※土曜日の診察は午前12時まで
- 休診日/日・祝
- 住所/〒626-0041 京都府宮津市鶴賀2059番地の1
- TEL/0772-22-2157(代表)  
0772-22-2221(地域連携室)
- FAX/0772-22-1125
- アクセス/北近畿タンゴ鉄道「宮津駅」より徒歩3分 国道178号線沿い、宮津漁連前
- 駐車料金/無料/台数 20台



地域医療を取り巻く環境が刻々と変化の中、今あらためて当院が目指すのは「患者様のニーズに的確に応える、安心でやさしい医療の提供」です。この実現に向け、医師・看護師といったソフト面、医療機器や設備などハード面のさらなる充足を図る努力を続けております。その結果として、これからも地域の皆様に親しまれ、永く、共に歩んでいける病院を目指しております。

**沿革**

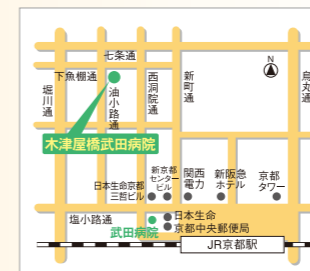
2006年2月	医療法人財団太田会・太田病院を武田病院グループが承継し、名称を宮津武田病院に変更
4月	法人名称を医療法人財団宮津康生会宮津武田病院に改称
2009年4月	介護療養病床を一般病床(障害者施設等一般病棟)へ病床転換(60床)

質の高いプライマリーケアと高齢者に対する療養医療  
思いやりの心にあふれた療養型病院

**木津屋橋武田病院**

**DATA**

- 院長/橋本 恵
- 病床数/総病床数111床 (介護療養型病床)
- 診療科目/内科、循環器内科、リハビリテーション科、神経内科
- 専門外来/甲状腺内分泌内科、高齢者総合外来(高齢者訪問診療内科)
- 告示・指定/指定介護療養型医療施設・介護サービス第三者評価受診施設
- 受付時間/午前9時~12時30分(土曜は午前診療のみ)/午後1時~4時/午後5時~8時※予約診有り 往診・定期健診(特定健診)も随時受け付けます
- 休診日/日・祝
- 住所/〒600-8231 京都市下京区油小路通下魚ノ棚下ル油小路町293(油小路通七条下る)
- TEL/075-343-1766(代表)
- FAX/075-343-5739
- アクセス/JR「京都駅」より徒歩9分  
京都市営地下鉄「京都駅」、近鉄「京都駅」より徒歩10分  
京都市バス「七条堀川」より徒歩1分
- 駐車料金/無料/台数 5台



木津屋橋武田病院は、JR京都駅から徒歩10分足らずという交通至便の地に在りながら、京都という土地柄のせいでしょうか、ビジネス街の活気あふれる大通りから路地一つ入れば落ち着いた町並みが広がり、昔ながらの京都の生活をかいま見ることのできる絶好の療養環境にそのたすまいを保っています。「お西さん」と親しまれる西本願寺もすぐ傍にあり、「心のふるさと京都」を実感させられる雰囲気の中、私たち職員が常に心がけておりますことは、いかにして患者様の老後が少しでも豊かでやすらかなものになるかということではありません。患者様の長年の人生の御苦労が少しでも癒されますよう訪問診療(往診)のご相談を承ります。また、各種予防接種も対応可能です。ご家族の皆様にご安心して大切な人を託していただけますよう、これからも、精進して参りたいと思っております。

**沿革**

1961年7月	武田病院夜間診療開業
1979年6月	武田病院新築移転により、旧武田病院を「木津屋橋武田病院」に名称変更
1988年3月	現地に新築移転開業
8月	京都初の老人保健施設「白寿」を併設
2000年4月	指定介護療養型医療施設(128床)
2003年3月	改修工事(111床)
2005年2月	介護サービス第三者評価受診
2006年2月	ISO14001認証
10月	介護給付算定に係る(リハビリ)提供体制変更(理学療法Ⅲ→理学療法Ⅱ)構造設備変更(機能訓練室一部改修)
2007年1月	特殊浴槽導入

充実の健診システムで疾病の早期発見・健康増進に貢献する

## 医療法人 財団 康生会 武田病院健診センター



### DATA

●所長/樹田 出 ●認定等/人間ドック健診施設機能評価認定 日本総合健診医学会優良施設認定 全日本病院協会指定 健康保険組合連合会指定 全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診指定※特定健康診査実施施設 ※特定保健指導実施施設

●住所/〒600-8216 京都市下京区塩小路通西洞院東入東塩小路町608 日本生命京都三哲ビル3F ●TEL/075-365-0825 ●FAX/075-361-3829

●アクセス/JR「京都駅」より徒歩5分、京都市営地下鉄「京都駅」より徒歩5分、近鉄「京都駅」より徒歩5分、京都市バス「下京区総合庁舎前」すぐ



人間ドックはもちろん、内臓肥満やアンチエイジングなど多彩な健診プログラムを提供しています。



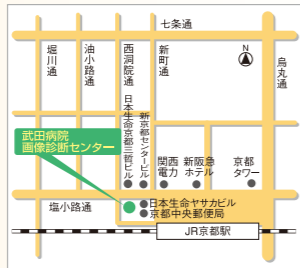
女性専用休憩室

## がん・アルツハイマーの早期発見に尽力する最先端の画像診断センター

### 医療法人 財団 康生会 タケダ放射線科クリニック 武田病院画像診断センター

### DATA

●センター長/林田 孝平 ●診療科目/内科・放射線科・人間ドック(がん検診) ●検査および予約受付時間/午前9時～午後5時 ●休診日/日・祝 ●建物の構造設備/RC造 地上5階、地下2階 ●医療機器/PET-CT SIEMENS TruePointBiograph 16(平成23年8月更新)、1.5T-MRI TOSHIBA EXCELART VantageXGV、cyclotron CTI RDS Eclipse 111 ●住所/〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下東塩小路町930番地 ●TEL/075-361-1680 ●FAX/075-361-1682 ●アクセス/JR「京都駅」より徒歩5分



最新鋭のPET-CTを駆使し、「がん」や「もの忘れ」、「認知症」の早期発見に尽力しています。

●お問合せ ご予約 フリーコール:007-77-5588

ホームページからも予約ができます。http://topic.takedahp.jp/



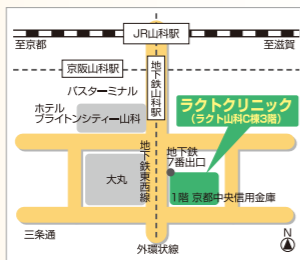
一人ひとりが、いつも健やかであるように

## 医療法人 財団 康生会 ラクトクリニック/ラクト健診センター



### DATA

●所長/田巻 俊一 ●認定等/人間ドック健診施設機能評価認定 日本総合健診医学会優良施設認定 健康保険組合連合会指定 全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診指定 全日本病院協会指定 ●住所/〒607-8080 京都市山科区竹鼻竹ノ街道町92番地 山科駅前ラクト山科棟3階 ●TEL/075-581-0910(クリニック)075-581-6696(健診センター) ●FAX/075-581-0991 ●診療科目/内科、循環器内科、神経内科、消化器内科、乳腺外来 ※特定健康診査実施施設 ※特定保健指導実施施設 ●診療時間/午前9時～12時/午後2時～4時(予約診療) ※土曜は午前9時～12時 ●健診/人間ドック、脳ドック、各種健康診断 ●休診日/日・祝 ●アクセス/JR「山科駅」、京阪「山科駅」、地下鉄「山科駅」より徒歩3分



大学病院並の機器を備えて地域の皆様に貢献。脳ドックをはじめ各種健診も実施しています。



受付

癌に対する集学的治療を推進

## たけだ診療所(免疫・遺伝子クリニック) 財団法人ルイ・バストゥール医学研究センター関連施設

最先端の細胞免疫療法に加え、ワクチン療法、温熱療法(ハイパーサーミア)を併用することでより効果的な癌治療に取り組んでいます。免疫担当細胞の機能検査も引き続き行なっています。

●所長/武田 厚子 ●センター長/舟木 準 ●治療/レトロネクチン®誘導Tリンパ球療法(Rit)、自家がんワクチン療法、温熱療法 ●検査/免疫機能検査 ●受付時間/午前9時～午後5時完全予約制(検査:休日前日の受付は不可) ●休診日/土・日・祝 ●住所/〒600-8216 京都市下京区木津屋橋通新町西入東塩小路 606-3-2 三旺京都駅前ビル1階 ●TEL/075-351-8282 ●FAX/075-351-8448 ●アクセス/JR京都駅より徒歩5分



交通アクセス良好な京都駅前の透析専門クリニック

## 医療法人 財団 康生会 京都駅前武田透析クリニック

治療のストレスを少しでも軽減していただけるような、リラックスできる環境を実現するために、プライバシーの確保を特に重視し、個室タイプとパーテーションによって仕切られた半個室をご用意しています。

●所長/吉岡 徹朗 ●診療科目/血液透析科 ●治療時間/午前8時30分～午後1時/午後2時～10時 ●休診日/日 ●住所/〒600-8216 京都市下京区木津屋橋通新町西入東塩小路町606-3-2三旺京都駅前ビル6階 ●TEL/075-351-9200 ●FAX/075-351-9201 ●アクセス/JR「京都駅」より徒歩7分、専用送迎バスを無料運行、駐車場有(要事前連絡)



通常の患者さんと外来は完全分離 無料の専用送迎も行っています

## 医療法人 医仁会武田クリニック(血液透析センター)

長期透析に伴い発症する多くの合併症に対しても、京都市東部の急性期医療の一翼を担う医仁会武田総合病院の他科と連携しながら総合的な治療を行うなど、高い医療環境を構築しています。

●所長/宇佐美 勝正 ●診療科目/腎透析科・腎不全外来 ●治療時間/午前8時30分～午後4時～10時30分 ●休診日/日 ●住所/〒601-1495 京都市伏見区石田森南町33-6 ●TEL/075-572-6984 ●FAX/075-572-6218 ●アクセス/地下鉄東西線「石田駅」より徒歩2分、専用送迎バスを無料運行、駐車場有(有料)200台



地域の皆様に高度な医療を提供する画像診断専門のクリニック

## 医療法人 財団 康生会 梶井町放射線診断科クリニック

### DATA

●所長/伊藤 博敏 ●診療科目/放射線診断科 ●診療時間(完全予約制)/月～金:午前9時～12時 午後1時～8時 土:午前9時～12時 午後1時～5時 ●休診日/日・祝 ●医療機器/3.0T-MRI PHILIPS Achieva、1.5T-MRI TOSHIBA EXCELART Vantage ●住所/〒602-0841 京都市上京区御車道通清和院口上る梶井町457番地 ●TEL/075-950-5751 ●FAX/075-950-5753 ●予約専用 PHS/070-6507-8988 ●アクセス/京阪電車「出町柳駅」下車徒歩12分 市バス4・17・205系統「府立医大病院前」下車 ●お車で越しの方は、河原町通り梶井町パーキングをご利用下さい(最大1時間20分までのサービス券を発行致します)。尚、当施設駐車場は身障者の方専用となっております。



最新鋭の3テスラ及び1.5テスラMRIを駆使し、高度な画像診断を地域の皆様に提供します。お問合せ ご予約075-950-5751 診療情報提供書はホームページよりダウンロードいただけます。(URL:http://www.kajiicho.jp/)



地域に密着した介護福祉・保健・医療のスペシャリストが結集した総合福祉施設

医療法人 医仁会 **老人保健施設 白寿** ※☆

**DATA**

●施設長/田中 英夫●入所定員/30名(短期入所者を含む)●通所リハビリ定員/30名(1日あたり)●入所対象者/介護認定で要介護と認定された方●居宅介護支援事業所●住所/〒601-1434 京都市伏見区石田森南町9番地●TEL/075-572-8207●FAX/075-572-8726●アクセス/地下鉄東西線「石田駅」より徒歩5分



安心と快適さに満たされた安らぎの生活を目指しています

社会福祉法人 青谷福祉会 **ヴィラ山科** ※☆  
特別養護老人ホーム

**DATA**

●施設長/長谷川 賢一●入所定員/80名●短期入所定員/10名●通所介護定員/32名(1日あたり)●入所対象者/介護認定で要介護と認定された方●住所/〒607-8179 京都市山科区大宅御所田町115-1●TEL/075-572-6677●FAX/075-572-6866●アクセス/京都市営地下鉄東西線「柳辻駅」下車徒歩約15分、京阪バス「大宅」下車徒歩8分

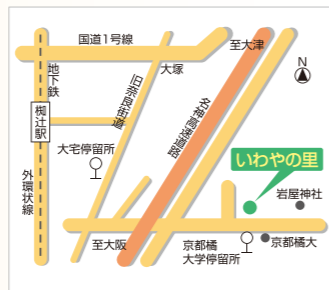


快適な環境と個性の尊重によって生きがいをもった療養生活を支援

医療法人 医仁会 **老人保健施設 いわやの里** ※☆

**DATA**

●施設長/倉八 博之●入所定員/80名(うち短期入所者10名)●通所リハビリ定員/25名(1日あたり)●入所対象者/介護認定で要介護と認定された方●住所/〒607-8177 京都市山科区大宅古海道町52●TEL/075-572-1811●FAX/075-572-1880●アクセス/京都市営地下鉄東西線「柳辻駅」下車徒歩約15分、京阪バス「大宅」下車徒歩8分、「橋大学前」下車徒歩3分



地域高齢者福祉の向上に貢献する総合的な医療・介護エリアの構築をめざしています

社会福祉法人 青谷福祉会 **ヴィラ稲荷山** ※☆  
特別養護老人ホーム

**DATA**

●施設長/森口 源一●入所定員/100名●短期入所定員/20名●通所介護定員/39名(1日あたり)●入所対象者/介護認定で要介護と認定された方●住所/〒612-0801 京都市伏見区深草正覚町23番●TEL/075-561-6550●FAX/075-561-6552●アクセス/京阪電車「鳥羽街道駅」徒歩5分、JR奈良線「東福寺駅」または「稲荷駅」徒歩約10分



「笑い声の間こえる施設」で生きがいのある生活を応援

社会福祉法人 青谷福祉会 **軽費老人ホーム ヴィラ城陽** ※☆

**DATA**

●施設長/辻 文明●入所定員/50名●居室/個室48室、夫婦室(2人)1室●入所対象者/60歳以上(夫婦で入居する場合はどちらかが60歳以上)で自立され、家庭環境・住宅事情などの理由により居宅において生活することが困難な方●住所/〒610-0114 京都府城陽市市辺笹原1番地●TEL/0774-55-1875●FAX/0774-54-3321●アクセス/JR奈良線「山城青谷駅」よりタクシー5分、近鉄京都線「大久保駅」「新田辺駅」よりタクシー15分、京阪宇治交通バス「青谷梅林」下車徒歩10分



生涯を通じて安心な老後と自立した生活を応援

社会福祉法人 青谷福祉会 **ケアハウス あじさい** ※☆

**DATA**

●施設長/吉村 啓一●ケアハウス/20名●入居対象者/60歳以上(夫婦入居の場合はどちらかが60歳以上)で家庭環境・住宅事情などの理由により居宅において生活することが困難な方●住所/〒619-1154 京都府木津川市加茂町駅東四丁目1番地3●TEL/0774-76-7607●FAX/0774-76-7802●アクセス/JR関西本線「加茂駅」徒歩2分



生涯を通じて安心な老後と自立した生活を応援

社会福祉法人 悠仁福祉会 **ケアハウス やまぶき** ※☆

**DATA**

●施設長/前川 貴司●ケアハウス/30名●入居対象者/60歳以上(夫婦入居の場合はどちらかが60歳以上)で家庭環境・住宅事情などの理由により居宅において生活することが困難な方●住所/〒611-0021 京都府宇治市宇治里尻36番35●TEL/0774-25-2577●FAX/0774-25-2788●アクセス/JR奈良線「宇治駅」徒歩2分、京阪宇治線「宇治駅」徒歩8分



在宅から施設まで地域の高齢者を支える総合福祉施設

社会福祉法人 青谷福祉会 **加茂の里** ※☆  
特別養護老人ホーム

**DATA**

●施設長/吉村 啓一●入所定員/50名●短期入所定員/20名●通所介護定員/35名(1日あたり)●居宅介護支援事業所●入所対象者/介護認定で要介護と認定された方●住所/〒619-1154 京都府木津川市加茂町駅東四丁目1番地3●TEL/0774-76-7607●FAX/0774-76-7802●アクセス/JR関西本線「加茂駅」徒歩2分



※京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構による第三者評価受診施設  
☆ISO9001:2008認証



自宅で生活されている高齢者の心身機能の向上を図る憩いの場

## デイサービスセンター

### 社会福祉法人 青谷福祉会 三条小川デイサービスセンター☆

DATA ●住所/〒604-8246 京都市中京区小川通三条下ル狸々町124 ●TEL/075-254-1106 ●FAX/075-254-1107  
●アクセス/地下鉄烏丸御池駅より徒歩10分/地下鉄二条城前駅より徒歩10分



### 社会福祉法人 青谷福祉会 ヴィラ稲荷山デイサービスセンター※☆

DATA ●住所/〒612-0801 京都市伏見区深草正覚町23番 ●TEL/075-561-6550 ●FAX/075-561-6552  
●アクセス/京阪電鉄「鳥羽街道駅」徒歩5分/JR奈良線「東福寺駅」または「稲荷駅」徒歩約10分



### 社会福祉法人 青谷福祉会 ヴィラ山科老人デイサービスセンター※☆

DATA ●住所/〒607-8179 京都市山科区大宅御所田町115-1 ●TEL/075-572-6677 ●FAX/075-572-6866  
●アクセス/京阪バス「大宅」停留所より徒歩8分



### 社会福祉法人 悠仁福祉会 デイサービスセンターヴィラ鳳凰※☆

DATA ●住所/〒611-0021 宇治市宇治里尻36-35 ●TEL/0774-25-2577 ●FAX/0774-25-2788  
●アクセス/JR奈良線「宇治駅」徒歩2分/京阪宇治線「宇治駅」徒歩8分



### 社会福祉法人 青谷福祉会 城陽市立東部デイサービスセンター※☆

DATA ●住所/〒610-0102 城陽市久世芝ヶ原6番地の2 ●TEL/0774-56-2530 ●FAX/0774-56-2531  
●アクセス/近鉄久津川駅より徒歩5分/JR城陽駅より徒歩15分



### 社会福祉法人 青谷福祉会 デイサービスセンター加茂の里※☆

DATA ●住所/〒619-1154 京都府木津川市加茂町駅東四丁目1番地3 ●TEL/0774-76-7607 ●FAX/0774-76-7802  
●アクセス/JR関西本線「加茂駅」前



## 地域包括支援センター／地域介護予防センター

保健福祉・医療の向上など  
さまざまな課題解決に  
取り組む自立支援の拠点

京都市委託事業一覧	地区	事業所名	電話
	下京区	京都市下京区・中部 地域包括支援センター 高齢サポート・下京中部☆ 京都市下京区木津屋橋通油小路東入南町509-4	075-361-2141
	伏見区	京都市醍醐・南部 地域包括支援センター 高齢サポート・醍醐南部☆ 京都市伏見区石田森南町9番地	075-572-6572
	山科区	京都市大宅 地域包括支援センター 高齢サポート・大宅※☆ 京都市山科区大宅御所田町115-1	075-572-6660
	下京区	京都市下京区 地域介護予防推進センター 京都市下京区木津屋橋通油小路東入南町509-4	075-361-1060

※京都市より地域包括支援センターの名称を、より身近な相談窓口として広く知っていただくことを目的として、上記の通り愛称で表記されることになりました。

## 居宅介護支援事業

介護保険のスペシャリスト、  
ご利用者やご家族の心強い味方

京都府指定事業一覧	地区	事業所名	電話
	下京区	武田病院 地域医療連携室 居宅介護支援事業部☆ 京都市下京区塩小路通西洞院東入東塩小路町841-5	075-361-1536
	南区	十条リハビリテーション病院☆ 京都市南区吉祥院八反田町32番地	075-671-2546
	伏見区	白寿 居宅介護支援事業所☆ 京都市伏見区石田森南町9番地	075-572-8640
	山科区	ヴィラ山科 居宅介護支援事業所※☆ 京都市山科区大宅御所田町115-1	075-572-6806
	宇治市	特別養護老人ホームヴィラ鳳凰※☆ 宇治市宇治里尻36番地35	0774-25-2577
	木津川市	加茂町在宅介護支援センター・加茂の里※☆ 京都府木津川市加茂町駅東四丁目1番地3	0774-76-8294

ニーズの高まる地域の在宅医療の屋台骨を支える縁の下の力もち

## 訪問看護ステーション

### 医療法人財団 康生会 柳馬場訪問看護ステーション☆

DATA ●住所/〒604-8113 京都市中京区柳馬場通六角下る井筒屋町430-1  
●TEL/075-212-7266 ●FAX/075-212-7321



### 医療法人財団 医道会 十条訪問看護ステーション☆

DATA ●住所/〒601-8325 京都市南区吉祥院八反田町32番地  
●TEL/075-671-2415 ●FAX/075-671-2435



### 医療法人 医仁会 おもいやり訪問看護ステーション☆

DATA ●住所/〒601-1434 京都市伏見区石田森南町9番地  
●TEL/075-574-1621 ●FAX/075-574-1622



### 社会福祉法人 青谷福祉会 訪問看護ステーションあじさい※☆

DATA ●住所/〒619-1154 京都府木津川市加茂町駅東二丁目2番地1 ユニ加茂耆番館 (JR加茂駅前)  
●TEL/0774-76-0233 ●FAX/0774-76-8461



住み慣れた我が家での療養や介護を支援

## 訪問介護ステーション／ホームヘルプサービス

### 医療法人財団 康生会 たけだホームヘルプサービス☆

DATA ●住所/〒604-8113 京都市中京区柳馬場通六角下る井筒屋町430-1  
●TEL/075-211-5999 ●FAX/075-213-2217



### 社会福祉法人 青谷福祉会 訪問介護ステーションヴィラ山科※☆

DATA ●住所/〒607-8179 京都市山科区大宅御所田町115-1  
●TEL/075-575-5252 ●FAX/075-575-5055



### 社会福祉法人 青谷福祉会 訪問介護ステーションヴィラ城陽※☆

DATA ●住所/〒610-0114 京都府城陽市市辺笹原1番地  
●TEL/0774-55-1875 ●FAX/0774-54-3321



### 社会福祉法人 青谷福祉会 訪問介護ステーション加茂の里※☆

DATA ●住所/〒619-1154 京都府木津川市加茂町駅東二丁目2番地1 ユニ加茂耆番館 (JR加茂駅前)  
●TEL/0774-76-0233 ●FAX/0774-76-8461



※京都介護・福祉サービス第三者評価等支援機構による第三者評価受診施設  
☆ISO9001:2008認証



醍醐寺は貞観十六年(八七四年)に開かれました。それから間もなく、醍醐天皇の御叡信によりまして、薬師如来が建立されました。その薬師如来は、人々の病の癒しを祈ることを大きな誓願といたしました。そして、自分の痛みを小さな金箔に託して、薬師如来さまのお体に貼って祈りました。人はそれを崇めて「箔薬師(はくやくし)」と呼びました。私たちが、その尊い祈りをずっと継承いたしております。

今、「命」ということを、どう考えるかが問われています。私どもは、「命」というものは「自分が使える大切な時間である」「自分に与えられた時間」と心して、祈りをつづけてまいります。

今日、武田病院グループの皆様と一緒に、御廻向の前に般若心経「巻をあげ、病などでお亡くなりになった方々とともに、東日本大震災で失われた尊い命、また、今後とも命を燃やしつ

づける人々のためにも祈りを捧げました。

私たちが絶えずお祈りをする中心は、「五大」と申します。この大講堂正面にお祈りしております五輪塔がそれを表しております。「五大」の一番下にあるのは「地」、その上が「水」、「火」、「風」、「空」の五つを表し、宇宙をイメージしております。そして、ここに祈ることによって、大地とその上の水、火、風と空の安泰をいつも祈っております。

不幸にも、昨年三月十一日に大地震が揺れ、そして水に襲われ、風の向きによつて大きな災いをもたらしてしまいました。五つの五大、大地、水、火、風、空気からくる大きな災いが一度に起こりました。人々の不安は、これらもたらす災いに勝るものはないと思いません。

そして、この災いの後に、人々、特に指導者が口にされるのは、「安心で安全でなければいけない」ということで

す。「安全」は、誰もが満足するような技術と英知によって確保できるものですが、「安心」は技術によっては作ることができません。安心は人と人との交わりや、つながり、話し合いでこそ得られるものです。私は最近、このことを非常に強く感じております。

究をなおざりにしている。病を治す技術は進んでいても、そこにはやはり、「安心」というもの大切さを強く感じる」とありました。まさしく、今はそういう時代ではないかと思えます。

「日本は医療の発展途上国である。でも注目すべき点がある。それは病院に付添婦と称する人がいる。付添婦さんはドクターでもナースでもない。二十四時間、患者に付き添って、お世話をしながら話をしている。そして、そこで得た話をドクターやナースに伝えている。付添婦さんは日常生活の中から患者の痛み、苦しみ、不安を聞きとっている。この働きが、きっと日本の新しい医療の発達につながっていくだろう。皆が人間そのものの研

現在、患者さんたちの中には、それぞれ大きな力で、自分に与えられた時間、命に向き合い、大きな夢を託して来世に旅立たれます。その命に対して、共々に手を合わせて祈ることが、大きな安心につながっていくと思

# 医療と漢字

## — 痩せの大食い —

『痩せの大食い』には脂肪が関係しています。脂肪には白色脂肪細胞と褐色脂肪細胞がありますが、大食いに関係するのは褐色脂肪細胞です。おなかの周りにある養分を溜め込む白色脂肪細胞と異なり、心臓の周辺(主に背中側)や腋の下、腎臓の周りに分布する褐色脂肪細胞は、養分をすぐに熱に変えてしまう働きをします。

『痩せの大食い』と言われる人は、褐色脂肪細胞の働きが活発で、いくら食べても熱に変わってしまうため、体に脂肪が付かない。つまり、太らないというより太れないのです。逆に肥満体の人は、養分が白色脂肪細胞に回り、体温が上昇しないために褐色脂肪細胞が働かないことで、さらに肥満へと悪循環を繰り返すこととなります。

褐色脂肪細胞を活発にして、熱の消費量を増やしたい人にはコツがあります。褐色脂肪細胞は、低い温度で活性化します。ですので、水泳をすることをお勧めします。なるほど水泳選手に、あまり太っている人はいないですよ。

### 編集後記

記念すべき100号を発刊することが出来ました。発行のたびに、様々なご意見をいただき、本当に皆様に支えられた30年間だと感じています。

この節目の発行に際し、一同、気持ちをあらたに、益々深刻化する医療・介護の地域課題に対応していく考えです。皆様のお力添えに感謝させていただくと共に、これからもご指導賜りますよう、お願い致します。

「たけだ通信」編集室



<http://www.takedahp.or.jp/>

■編集委員 / 石田貴志・井上孝紀・今井 優・音田聡子  
櫻本達也・小谷昌弘・小林啓治・鈴木基夫  
土屋賢生・西村正樹・水野孝子・水口善夫  
山田佳之

たけだ [第100号]

●発行人 / 武田隆男  
●発行所 / 京都市下京区堀小路通西洞院東入ル  
医療法人財団康生会武田病院  
TEL 075-361-1351(代)

●編集人 / 「たけだ通信」編集室  
●発行日 / 平成24年4月1日  
●制作 / (株)日本医療企画

